

平成25年度 予算(案)の概要

防災力を強化し、
活力と魅力あふれるまちづくり



平成25年2月13日
大田区

平成 25 年度予算（案）の編成にあたって

大田区の平成 25 年度予算は、特別区税が増加に転じたものの、雇用環境の悪化や高齢化等に伴う社会保障関係経費が引き続き増加傾向にあり、当初から多額の財源不足が見込まれる厳しい財政環境での編成となりました。

こうした難局といえる状況の中でも、区民生活や区内経済を守り抜くとともに、区の未来へ向けた歩みを着実に進めるという強い決意で予算編成を行ないました。

東日本大震災は、地域社会や行政に対し多くの教訓を投げかけました。区は、この教訓を糧とし、首都直下地震を始めとする災害に備えるため、引き続き、総合防災力の強化を図っていきます。道路や橋梁等の都市基盤施設、公共施設の維持更新を適切に進めるほか、小、中学校の地域防災拠点化、高齢者や障がい者施設への備蓄物品の配備など、ハード・ソフト両面で、災害に強い都市の実現に向けた様々な課題に果敢に取り組み、区民の皆様の命と暮らしを守る使命を確実に果たしてまいります。

区内経済に目を向けますと、大田区の中小企業は、ものづくりの基盤を支え、日本の成長を牽引する重要な担い手です。区内企業の優れた技術を活用して、医療関連機器分野における参入促進を図ります。また、羽田空港跡地につきましては、国際戦略総合特区制度を活用した、国内外の産業連携の拠点形成を着実に進め、ものづくり産業の維持、発展につなげてまいります。

平成 25 年度は、「おおた未来プラン 10 年」が、策定から 5 年目の節目の年を迎えます。区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向けて、前期計画を着実に推進すると共に、後期 5 年分の事業計画策定に向けた検討を行ってまいります。



平成 25 年度の一般会計予算規模は、2,321 億 7 千万円余で、前年度比 57 億 2 千万円余、2.5%の増額予算としました。








この予算のスローガンを「防災力を強化し、活力と魅力あふれるまちづくり」と掲げ、区民の皆さまとともに、力強く区政を前進させてまいります。




平成 25 年 2 月
大田区長

松原 忠義



















目 次

1	平成 25 年度予算編成の基本的な考え方	8
2	持続可能な財政運営に向けた取組	9
3	財政規模	11
4	歳入の状況（一般会計）	12
5 - 1	歳出の状況（一般会計 性質別）	13
5 - 2	歳出の状況（一般会計 目的別）	14
6	特別会計予算の特徴	15
7	基金の状況	16
8	大田区の経営改善	17
9	主な組織の改正について	17
	平成 25 年度 一般会計予算（案）集計表	19
(1)	歳入（款別）	19
(2)	歳出（款別）	20
10	事業説明資料	21
(1)	安全・安心	
1	総合防災力強化事業 新規 	22
2	区立保育園・民間保育所における備蓄食材購入 新規 	24
3	福祉避難所における防災備蓄物品の確保（高齢者） 新規 	25
4	福祉避難所における防災備蓄物品の確保（障がい者） 	25
5	保育園・児童館の耐震補強工事 新規	26
6	密集住宅市街地整備促進事業の推進	27
7	耐震診断・改修助成事業	28
8	橋梁の補修	29






















9	橋梁の耐震補強整備	30
10	橋梁の架替整備	31
11	路面下空洞調査 新規	33
12	密集市街地改善のための「木密地域不燃化10年プロジェクト」 への取組み 新規	34
13	デジタルサイネージの導入 新規	35
14	被災地支援ボランティア調整センターの運営 	36
15	防災塾応用編の実施 新規 	37
 (2) 健康・福祉・医療		
1	(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置・建設 	38
2	地域密着型サービス施設整備費の助成	39
3	都市型軽費老人ホームの整備	40
4	高齢者熱中症予防事業 新規 	41
5	介護予防事業の充実 新規 	42
6	子宮がん検診の拡充 新規	43
7	乳がん検診の拡充 新規	44
8	ジェネリック医薬品利用差額通知の実施 新規	45
9	発達障害支援事業 新規	46
10	スポーツ祭東京 2013 の開催 新規 	47
 (3) 子育て・教育		
1	待機児童対策の充実 新規	48
2	子ども家庭支援センター六郷分室の開設 新規 	49
3	こども発達センターわかばの家の事業充実 新規	50

4	すこやか赤ちゃん訪問事業の充実	51
5	学校支援地域本部事業 	52
6	校庭の芝生化（多摩川小学校） 	53
7	校舎等の改築・改修	54
8	サイエンス・コミュニケーション科新設 新規 	56
9	児童・生徒用新聞教材 新規	57

(4) 産業・環境

1	新製品・新技術開発支援事業 新規	58
2	大田区の将来を担う優秀技術者表彰の創設 新規	59
3	医工連携事業の充実 新規     	60
4	受発注相談 新規     	61
5	「大田区緑の基本計画」の推進  	62
6	保護樹木・樹林等の保全  	63
7	「18色の緑づくり」支援  	64
8	エコライフ支援事業（助成事業）	64
9	住民参加型植樹管理（おおた花街道） 新規  	65

(5) 観光・文化

1	大田区産業観光促進事業 新規     	66
2	映画・ドラマ等を活用した観光PR事業 新規    	67
3	観光まちづくり推進支援事業 新規    	68
4	大田区観光大使・特使によるPR事業 新規    	69
5	京急品川駅観光情報コーナーの設置 新規  	70
6	インバウンド誘致事業  	71

7	MICE 誘致事業	新規	士	72
8	特別展「版画家 川瀬巴水ー生誕 130 年記念ー」(仮題)	新規	〇〇〇 士	73
(6) 魅力あるまちづくり				
1	空港跡地整備に係る調査 (国際戦略総合特区関連事業)	新規	士	74
2	京急関連駅周辺のまちづくり	〇〇〇	士	75
3	新空港線「蒲蒲線」整備促進事業		士	76
4	蒲田駅周辺地区の整備	〇〇〇	士	77
5	大森駅周辺地区の整備	〇〇〇	士	78
6	空港臨海部のまちづくり・交通ネットワーク調査		士	79
7	景観法を活用した景観行政の推進	新規	士	80
8	海辺の散策路整備		士	81
9	旧逆川の整備 (蒲田駅周辺のまちづくり)		士	82
10	桜のプロムナードの整備	〇〇〇		83
11	公園の整備	〇〇〇		84
12	小池の水を洗足流れに導水する基本調査	新規	〇〇〇	85
13	自転車レーンの試験整備	新規		86
14	(仮称) 仲六郷二丁目複合施設の建設	〇〇〇		87
15	新井宿特別出張所の改築	〇〇〇		88
16	団体支援ネットワークの強化	〇〇〇		89
17	おおた未来プラン 10 年 (後期) の策定	新規	〇〇〇 士	90

- ※ 事業説明資料については、表示単位未満を四捨五入しています。
- ※ 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により計算しています。
- ※ 端数処理の関係で表の合計が合わない場合があります。
- ※ 〇〇〇 地域力に関する事業には、このマークを表示しています。
- ※ 士 国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。
- ※ 新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

<平成25年度予算(案)の概要>

★:新規事業 〇〇〇:地域力に関する事業 士:国際都市をめざす事業

防災力を強化し、活力と魅力あふれるまちづくり

平成25年度予算案は、次の考え方をもとに編成しました。

- 1 防災力をさらに強化し、都市基盤施設、公共施設の維持更新を適切に進め、安全・安心に暮らせるまちをつくります。
- 2 区民生活・区内経済に不可欠な事業を着実に実施し、区の未来へ向けた施策を戦略的に推進します。
- 3 スタートから前期5年の節目を迎える「おおた未来プラン10年」の各事業を着実に推進します。

一般会計総額
2,321億7,068万円
(平成24年度比 2.5%増)

安全・安心

総合防災力の強化を一層推進し、災害に強いまちづくりを目指し、区民の安全・安心を守ります。

- ★総合防災力強化事業(1億1,233万円) 〇〇〇
 - ・学校防災活動拠点の整備、初期消火用スタンドパイプ追加配備等
- ★区立保育園・民間保育所における備蓄食材購入(985万円) 〇〇〇
- ★災害時要援護者対策の推進(福祉避難所における防災備蓄物品の確保)(1,852万円) 〇〇〇
- ★保育園・児童館の耐震補強工事(4億4,830万円)
- ☆耐震診断・改修助成事業(10億6,502万円)
- ☆橋梁の整備(5億3,934万円)
 - ・橋梁補修 ・耐震補強整備 ・架替整備
- ★路面下空洞調査(3,003万円)
- ★密集市街地改善のための「木密地域不燃化10年プロジェクト」への取組み(4,833万円)
- ☆被災地支援ボランティア調整センターの運営(6,348万円) 〇〇〇
- ★防災塾応用編の実施(36万円) 〇〇〇



子育て・教育

未来を担う大田の子どもたちの成長をサポートするための環境づくりを進めます。

- ★待機児童対策の充実(11億6,248万円)
- ★子ども家庭支援センター六郷分室の開設(1,873万円) 〇〇〇
- ★こども発達センターわかばの家の事業充実(519万円)
- ☆学校支援地域本部事業(3,523万円) 〇〇〇
- ☆校庭の芝生化(多摩川小学校)(1億776万円) 〇〇〇
- ☆校舎等の改築・改修(13億4,101万円)
- ★サイエンス・コミュニケーション科新設(90万円) 〇〇〇



産業・環境

大田区の産業の活性化を支援し、まちを元気にします。地球環境に配慮した取り組みを進めます。

- ★新製品・新技術開発支援事業(9,236万円)
- ★大田区の将来を担う優秀技術者表彰の創設(44万円)
- ★医工連携事業の充実(961万円) 〇〇〇 士
 - ・産学連携コーディネーター増員
 - ・医工連携支援委託、見本市出展支援(ドイツ「COMPAMED」等)
- ★受発注相談(農工連携セミナー、フード商談会)(45万円) 〇〇〇 士
- ☆みどりの条例関係事業(3,619万円)
 - ・「大田区緑の基本計画」の推進 〇〇〇
 - ・保護樹木、樹林等の保全 〇〇〇
- ☆「18色の緑づくり」支援(221万円) 〇〇〇
- ★住民参加型植樹管理(おおた花街道)(258万円) 〇〇〇

健康・福祉・医療

「スポーツ健康都市おおた」の理念のもと、区民の誰もがいきいきと健康的に暮らせるまちづくりを進めます。

- ☆(仮称)障がい者総合サポートセンターの設置・建設(6億6,388万円) 〇〇〇
- ☆地域密着型サービス施設整備費の助成(2億7,770万円)
- ☆都市型軽費老人ホームの整備(1億7,694万円)
- ★高齢者熱中症予防事業(265万円) 〇〇〇
- ★介護予防事業の充実(1,502万円) 〇〇〇
- ★女性特有のがん検診の受診促進(2,013万円)
 - ・子宮がん検診の拡充
 - ・乳がん検診の拡充
- ★スポーツ祭東京2013の開催(2億1,131万円) 〇〇〇



観光・文化

区内の観光資源を区内外及び海外に広くPRするため情報発信を強化し、区内への誘客を図ります。

- ★大田区産業観光促進事業(1,368万円) 〇〇〇 士
- ★映画・ドラマ等を活用した観光PR事業(55万円) 〇〇〇 士
- ★観光まちづくり推進支援事業(100万円) 〇〇〇 士
- ★大田区観光大使・特使によるPR事業(133万円) 〇〇〇 士
- ★京急品川駅観光情報コーナーの設置(350万円) 士
- ☆インバウンド誘致事業(251万円) 士
- ★MICE誘致事業(20万円) 士
- ★特別展「版画家 川瀬巴水 一生誕130年記念」(仮題)(973万円) 〇〇〇 士



魅力あるまちづくり

地域の特色を活かしたまちづくりを推進するとともに、国際戦略総合特区構想の実現に向けた取り組みを進めます。

- ★空港跡地整備に係る調査(国際戦略総合特区関連事業)(1,050万円) 士
- ☆京急関連駅周辺のまちづくり(45億6,904万円) 〇〇〇 士
- ☆新空港線「蒲蒲線」整備促進事業(5億1,222万円) 士
- ☆蒲田駅周辺地区の整備(4,415万円) 〇〇〇 士
- ☆大森駅周辺地区の整備(1,963万円) 〇〇〇 士
- ★景観法を活用した景観行政の推進(835万円) 士
- ☆(仮称)仲六郷二丁目複合施設の建設(9億3,589万円) 〇〇〇
- ★おおた未来プラン10年(後期)の策定(763万円) 〇〇〇 士

地域力

地域力の源は区民一人ひとりの力です。この力が結びつくことでより大きな地域力が生まれ、これを区政に活かすことで、誰もが暮らしやすいまちが実現します。

防災・防犯、福祉、子育て、産業等、多様化する地域課題を、地域の方や事業者、団体・NPO等と連携・協働しながら解決するため、地域力を積極的に応援しています。土台を固め、結びつけることによって、地域力をさらに強化し、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めます。



国際都市

羽田空港の国際化により、大田区が世界とつながるまちとして今後ますます重要な立場になることを見据え、大田ブランドの発信や、外国人の受入環境整備、多文化共生のまちづくり等を推進します。

平成25年度末に、羽田空港国際線の年間発着枠が3万回増加し、国内線と合わせて44.7万回に拡大される予定です。大田区を訪れる方がさらに増加し、まちのにぎわいにつながるよう、地域の受入意識醸成やシティセールスを積極的に進め、世界とつながるまちとして、大田区の魅力を発信していきます。



1 平成 25 年度予算編成の基本的な考え方

【編成方針】

平成 25 年度予算は、

「防災力を強化し、活力と魅力あふれるまちづくり」

と位置づけ、次の視点を基本に編成しました。

視点

～ 区民の安全・安心の確保と、未来に向けた区政の着実な前進 ～

- 新たな行政需要に対応する施策や、平成 24 年 5 月に修正した「おおた未来プラン 10 年」を着実に推進する。
- 総合防災力の強化や学校・庁舎などの公共施設、道路・橋梁などの都市基盤施設の維持更新を適切に進め、区民の安全と安心を確保する。
- 地域の課題解決に向け、地域力を活かし、区民と行政との連携・協働をさらに推進する。

～ 財政の対応力の発揮と、健全性の堅持 ～

- 区民生活・区内経済に不可欠な事業や区の未来へ向けた施策を戦略的に推進するため、区財政の対応力を発揮するとともに、区政の展望を区民に示す施策の選択と集中に努め、財政の健全性を堅持するとともに、効率的・効果的な区政運営の実現を目指す。
- 区のすべての施策及びその執行方法について、必要性・効率性・優先度などの観点から、検証・評価を厳格に行い、既存事業の枠組みにとらわれることなく、廃止・縮小・統合・アウトソーシング等を含めた見直し・再構築を主体的・積極的に断行する。

2 持続可能な財政運営に向けた取組

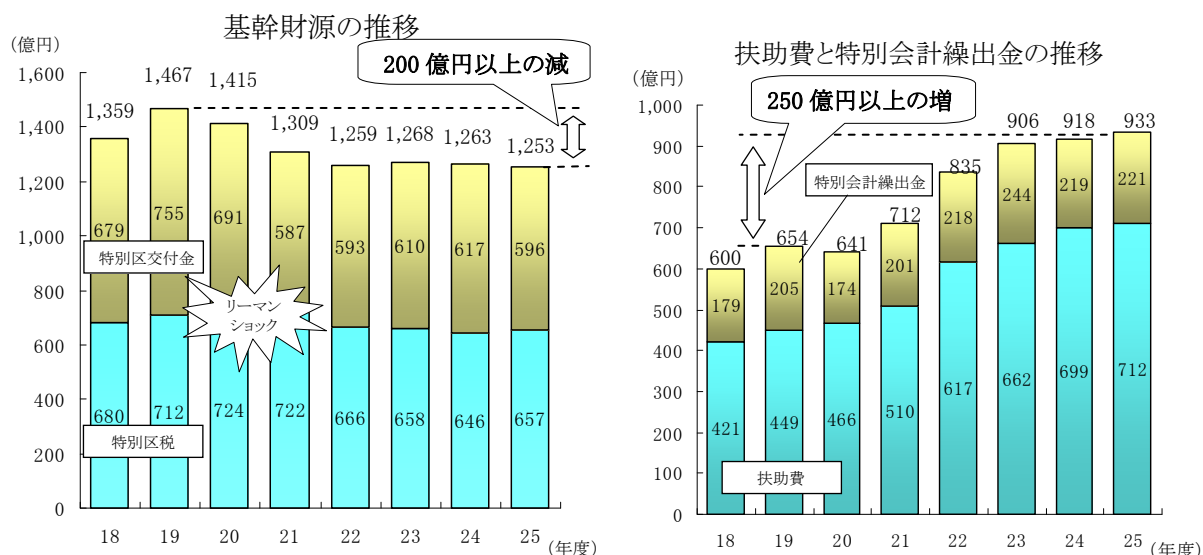
区は、基幹財源である特別区税が増加に転じたものの、雇用環境の悪化や高齢化がもたらす扶助費などの社会保障関係経費等が増大し、財政規模が拡大傾向にあるという厳しい財政環境に直面しています。

一方、総合防災力強化への迅速な取組、区民生活や区内経済に必要な行政サービスの安定的な提供、区の未来に向けた戦略的な施策の推進など、区が直面している様々な財政需要に、時機を逸することなく応えていかなければなりません。

区は、厳しい財政環境が続く中でも、財政の健全性を維持するとともに、基金や特別区債といった財政の対応力を発揮し、限りある財源を最大限に有効活用して、区民に最も身近な基礎自治体としての使命を、将来にわたり確実に果たしてまいります。

区財政が直面する厳しい状況

- リーマンショックに端を発した世界同時不況以降、区の基幹財源である特別区税と特別区交付金は回復せず、平成 19 年度と比較して 200 億円以上の減となっています。
- 社会保障関係経費である生活保護費や介護給付費等の扶助費、国民健康保険事業特別会計など各特別会計への繰出金が、平成 19 年度と比較して 250 億円以上の増となっており、財政規模の拡大に大きな影響を及ぼしています。

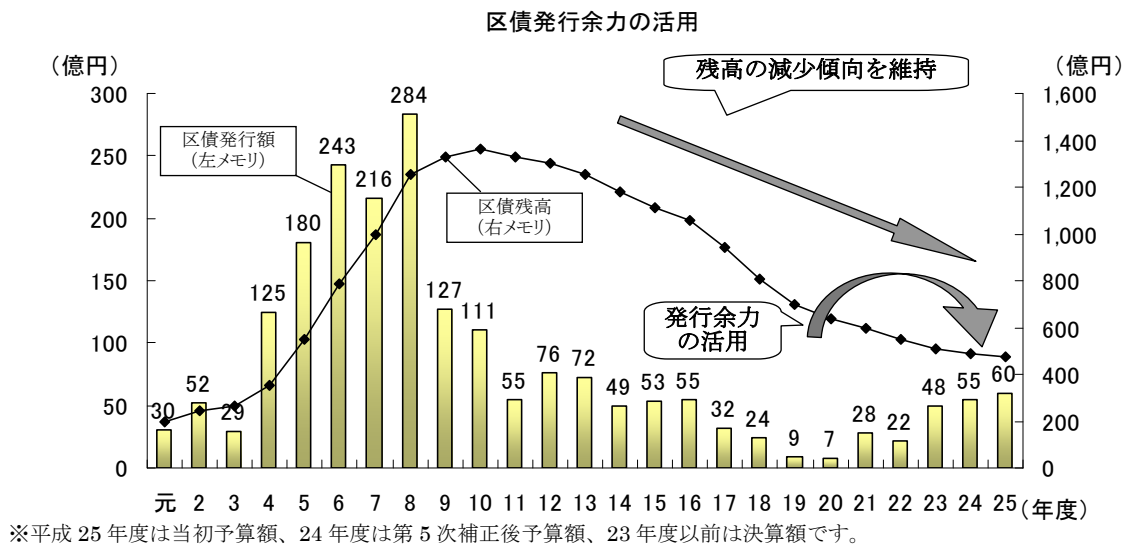
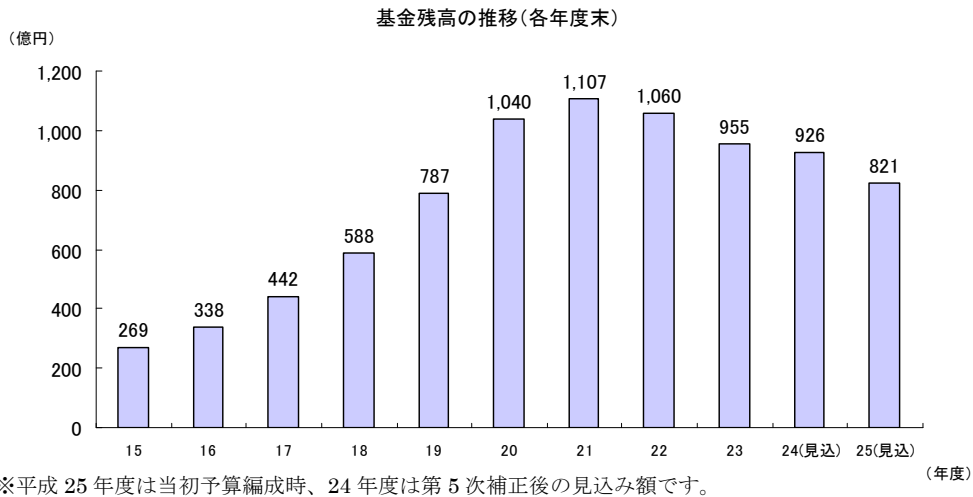


※平成 25 年度は当初予算額、24 年度は第 5 次補正後予算額、23 年度以前は決算額です。

※特別会計繰出金は、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険、(老人保健医療：平成 22 年度まで) の 4 特別会計への繰出金です。

将来にわたり、区が担うべき役割を果たすために

- 区は、厳しい財政環境にあっても、財政基金の活用などにより行政の役割を確実に果たしてきました。今後もこうした状況が当面続くことを想定し、施策の見直し・再構築など、業務執行体制の改善に継続して取り組んでいきます。
- 総合防災力の強化に向けた取組、区民生活・区内経済に不可欠な行政サービスの提供や、区の未来へ向けた戦略的な施策などに的確に取り組むことが必要です。そのために、基金残高の確保、特別区債の発行余力など、計画的な財政運営により培ってきた区財政の対応力を発揮し、限られた財源を最大限に有効活用することにより、着実に区政を前進させていきます。



3 財政規模

- 一般会計の予算規模は、前年度比 2.5%増の 2,322 億円となりました。厳しい社会経済状況を反映し、扶助費などの社会保障関係経費が増額となる一方で、徹底した内部努力により、人件費や、事務経費などを精査しました。
- 歳入のうち、5 割以上を占める特別区税と特別区交付金の合計は、前年度比 2.2%増の 1,253 億円と、増収を見込みました。
- 歳出のうち、「おおた未来プラン 10 年」に掲げた施策を着実に推進するための経費は、未来プランの点検を踏まえ、240 億円を計上しました。予算規模 2,322 億円の約 10%を占める結果となっています。

【一般会計】

(単位：億円、%)

区 分	25 年度	24 年度当初	増減額	増減率
歳 入	2,322	2,264	57	2.5
うち特別区税+特別区交付金	1,253	1,226	27	2.2
歳 出	2,322	2,264	57	2.5
うち計画事業予算	240	245	△5	△2.2

【全会計】

(単位：千円、%)

区 分	25 年度	24 年度当初	増減額	増減率
一般会計	232,170,676	226,447,791	5,722,885	2.5
特別会計	132,004,065	129,080,541	2,923,524	2.3
国民健康保険事業	73,811,236	72,651,775	1,159,461	1.6
後期高齢者医療	13,686,592	13,780,494	△ 93,902	△ 0.7
介護保険	44,506,237	42,648,272	1,857,965	4.4
全会計合計	364,174,741	355,528,332	8,646,409	2.4

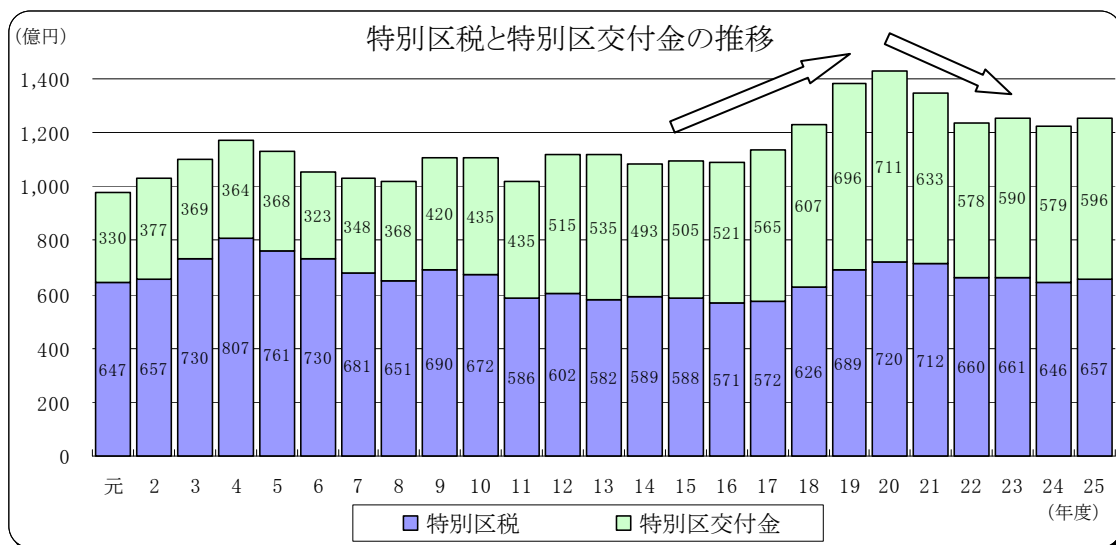
4 歳入の状況（一般会計）

- 特別区税は、特別区民税、特別区たばこ税の微増を見込んだ結果、前年度比 1.6%増の 657 億円となりました。
- 特別区交付金（都区財政調整交付金）は、企業収益が増益を維持していることなどにより前年度比 2.9%増の 596 億円となりました。しかし、景気変動の影響を大きく受けるため、安定的な増収は見込めない状況にあります。
- 国庫支出金は、生活保護費負担金や障害者自立支援給付費負担金が増えた影響などにより、前年度比 3.2%増の 439 億円を計上しています。
- 特別区債は、橋梁の架替・耐震補強整備、市街地再開発事業などに活用するため 60 億円を計上しました。

【歳入の状況】

（単位：億円、%）

区 分	25 年度	24 年度当初	増減額	増減率
特 別 区 税	657	646	10	1.6
特 別 区 交 付 金	596	579	17	2.9
使用料及び手数料	68	68	0	0.1
国 庫 支 出 金	439	426	13	3.2
都 支 出 金	132	116	16	13.5
特 別 区 債	60	59	1	1.7
そ の 他	369	369	0	△0.1
合 計	2,322	2,264	57	2.5



※各年度とも当初予算額です。

5-1 歳出の状況（一般会計 性質別）

- 義務的経費は、13 億円の増となっています。
 - 人件費は、職員定数削減や給料の減額改定などにより全体で 1.8%、8 億円の減となっています。
 - 扶助費は、生活保護世帯の増加などを反映して 5.0%、34 億円の増となっています。
 - 公債費は、主に償還期限を迎える特別区債償還のための経費です。13.9%、13 億円の減となっています。
- 投資的経費は、19 億円の増となっています。

区民の安全と安心を確保するため、学校・庁舎などの公共施設、道路・橋梁などの都市基盤施設の維持更新に取り組みます。

また、活力あるまちづくりを進めるため、京急関連駅周辺のまちづくり事業にも引き続き取り組みます。
- その他の経費は 26 億円の増となっています。

新空港線整備資金積立基金への積立、「スポーツ祭東京 2013」の開催経費のほか、都議会議員・参議院議員選挙経費などを計上しています。

【性質別歳出の状況】

（単位：億円、%）

区 分		25 年度	24 年度当初	増減額	増減率
義務的経費		1,242	1,229	13	1.0
	人 件 費	451	459	△8	△1.8
	扶 助 費	712	679	34	5.0
	公 債 費	79	91	△13	△13.9
投資的経費		247	229	19	8.2
その他の経費		832	806	26	3.2
	他会計繰出金	221	222	0	△0.2
	他会計繰出金以外	611	585	26	4.5
合 計		2,322	2,264	57	2.5

5-2 歳出の状況（一般会計 目的別）

- 地域の振興の予算は、地域力を活かしたまちづくりの予算として 82 億円を計上しました。区民活動・地域活動を支援する経費、被災地支援ボランティア調整センターや、大田区総合防災力の強化のための予算など、多岐にわたる内容となっています。
- 福祉と保健の予算は、生活保護費、障害者自立支援給付費などの扶助費、待機児解消に係る経費、健康づくり関係予算のほか、平成 25 年度に着工する（仮称）障がい者総合サポートセンターの建設経費など 1,307 億円を計上しました。
- まちづくりの予算は、道路整備や橋梁の架替・耐震補強整備など災害に強いまちづくり、市街地再開発事業などを進めるため 282 億円を計上しました。

【目的別歳出の状況】

（単位：億円、％）

区 分	25 年度		24 年度当初		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
地 域 の 振 興	82	3.5	78	3.5	4	4.5
福 祉 と 保 健	1,307	56.3	1,266	55.9	41	3.2
産 業 と 観 光	35	1.5	33	1.5	2	4.5
ま ち づ く り	282	12.1	269	11.9	13	5.0
環 境 と 清 掃	95	4.1	98	4.3	△3	△3.0
教 育 と ス ポ ー ツ	208	9.0	213	9.4	△5	△2.5
区 政 の 運 営	234	10.1	215	9.5	19	8.7
区 債 の 償 還	78	3.4	91	4.0	△13	△13.9
合 計	2,322	100.0	2,264	100.0	57	2.5

6 特別会計予算の特徴

○ 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業は、国民健康保険加入者から保険料を徴収し、医療費や出産育児一時金などの支払い、後期高齢者支援金や介護納付金などの納付等を行っています。生活習慣病の予防や早期発見につながるよう、特定健康診査及び特定保健指導について、より受診しやすい工夫や一層のPRに努めています。医療費の増加などに伴い、前年度比1.6%増となっています。

○ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の高齢者への適切な医療の確保を図るため、平成20年度から創設されています。区は、保険料の徴収や各種申請の受付などの窓口業務を行っています。広域連合納付金の減などにより、前年度比0.7%減となっています。

○ 介護保険特別会計

介護保険料の徴収や介護報酬の支払いを行うほか、介護予防事業にも積極的に取り組みます。65歳以上の高齢者人口や要介護認定者数が増加していることから、保険給付費の増加により前年度比4.4%増となっています。

【特別会計】

(単位：億円、%)

区 分	25年度	24年度当初	増減額	増減率
国民健康保険事業	738	727	12	1.6
後期高齢者医療	137	138	△1	△0.7
介護保険	445	426	19	4.4
合 計	1,320	1,291	29	2.3

7 基金の状況

基金には、「年度間に差のある税収等の影響を最小限に抑えつつ、質の高い行政サービスを安定的に提供する」という重要な財源調整機能があります。平成25年度末の主な積立基金現在高見込みの合計は817億円で、同時点の区債現在高見込み474億円を大きく上回っており、区財政は健全性を維持しているといえます。

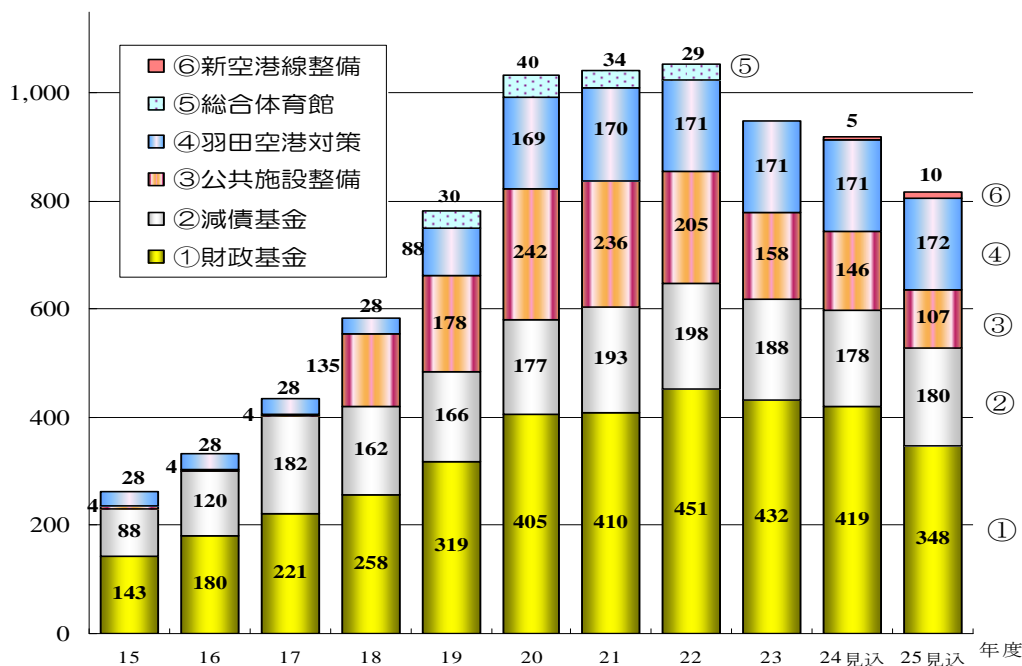
○ 公共施設整備基金

老朽化した施設の更新には多額の経費が見込まれることから、計画的に事業へ充当します。

○ 減債基金

原則として、満期に一括で返済する特別区債の元金を準備し、また、将来の公債費に充てる財源とするため、借入期間に対応した額を毎年度積み立てています。

億円 主な積立基金の現在高推移（各年度末）



(単位: 億円)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度見込	25年度見込
主な積立基金現在高合計	263	332	435	583	781	1,033	1,043	1,054	949	919	817
① 財政基金	143	180	221	258	319	405	410	451	432	419	348
② 減債基金	88	120	182	162	166	177	193	198	188	178	180
③ 公共施設整備	4	4	4	135	178	242	236	205	158	146	107
④ 羽田空港対策	28	28	28	28	88	169	170	171	171	171	172
⑤ 総合体育館					30	40	34	29			
⑥ 新空港線整備										5	10
特別区債現在高	1,113	1,058	939	804	698	636	600	547	508	483	474
基金現在高－区債現在高	△850	△726	△504	△221	83	397	443	507	441	436	343

※基金現在高は年度末3月31日現在の数字に、出納整理期間の増減を反映しています。

8 大田区の経営改善

- 健全な財政を維持しながら、基本計画を円滑に進めていくため、「大田区経営改革推進プラン」に基づき、引き続き、行政の経営改善に努めていきます。

◇「大田区経営改革推進プラン」（平成 24～26 年度）の概要

- 1 区民本位の行政経営の推進**
 - (1) 情報公開と区民参画の推進
 - (2) 信頼される窓口づくり
 - (3) マネジメント機能の強化
- 2 持続可能な行政経営の推進**
 - (1) 効果的でムダのない事務事業の展開
 - (2) 健全な財政運営の推進
 - (3) 柔軟で機動的な組織体制の整備
 - (4) ファシリティマネジメントの推進
 - (5) 環境への配慮
 - (6) 危機管理機能の強化
 - (7) 地方分権・地域主導の取組み
- 3 地域力を活かす行政経営の推進**
 - (1) 地域活動の支援と地域力の醸成
 - (2) 産学公の連携による地域活性化の推進
 - (3) 新しい公共の推進
 - (4) 国際都市おおたの推進
 - (5) シティセールスの推進
- 4 職員力を活かす行政経営の推進**
 - (1) 職員力の強化

9 主な組織の改正について

- トップマネジメントをサポートし、社会経済状況の変化に迅速に対応できる体制を強化するために「区長政策室」、「政策課」を設置します。
- 区長の政策を実現するために、全庁的な経営改革、計画立案及び予算編成を行う「計画財政部」を設置します。
- 人材・公有財産の管理などを効果的に活用し、効率的な区政を実現する「総務部」を設置します。
- 社会福祉法人の認可、指導検査等の事務を担当する「法人指導担当課長」を設置します。
- スポーツに関する事務の執行体制を整備するため、「スポーツ推進担当課長」を設置します。

平成 25 年度

一般会計予算（案）集計表

(1) 歳入(款別)

(単位:千円、%)

款	25年度		24年度当初		前年度比較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
1	特別区税	65,692,655	28.3	64,645,878	28.5	1,046,777	1.6
	うち特別区民税	60,359,198	26.0	59,933,282	26.5	425,916	0.7
	うち特別区たばこ税	5,106,733	2.2	4,482,686	2.0	624,047	13.9
2	地方譲与税	1,692,001	0.7	1,706,001	0.8	△ 14,000	△ 0.8
3	利子割交付金	826,000	0.4	768,000	0.3	58,000	7.6
4	配当割交付金	360,000	0.2	315,000	0.1	45,000	14.3
5	株式等譲渡所得割交付金	75,000	0.0	185,000	0.1	△ 110,000	△ 59.5
6	地方消費税交付金	8,169,000	3.5	7,580,000	3.3	589,000	7.8
7	自動車取得税交付金	580,001	0.2	418,001	0.2	162,000	38.8
8	地方特例交付金	441,000	0.2	660,000	0.3	△ 219,000	△ 33.2
9	特別区交付金	59,606,000	25.7	57,924,000	25.6	1,682,000	2.9
10	交通安全対策特別交付金	87,000	0.0	90,000	0.0	△ 3,000	△ 3.3
11	分担金及び負担金	3,558,083	1.5	3,593,513	1.6	△ 35,430	△ 1.0
12	使用料及び手数料	6,834,578	2.9	6,827,614	3.0	6,964	0.1
13	国庫支出金	43,948,585	18.9	42,599,966	18.8	1,348,619	3.2
14	都支出金	13,198,196	5.7	11,630,725	5.1	1,567,471	13.5
15	財産収入	359,838	0.2	848,975	0.4	△ 489,137	△ 57.6
16	寄附金	257,850	0.1	266,644	0.1	△ 8,794	△ 3.3
17	繰入金	12,287,646	5.3	12,652,692	5.6	△ 365,046	△ 2.9
18	繰越金	2,000,000	0.9	2,000,000	0.9	0	0.0
19	諸収入	6,197,243	2.7	5,835,782	2.6	361,461	6.2
20	特別区債	6,000,000	2.6	5,900,000	2.6	100,000	1.7
	合計	232,170,676	100.0	226,447,791	100.0	5,722,885	2.5

(2) 歳出(款別)


(単位:千円、%)


款		25年度		24年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	議会費	1,120,677	0.5	1,134,505	0.5	△13,828	△1.2
2	総務費	28,872,065	12.4	26,530,508	11.7	2,341,557	8.8
3	福祉費	123,279,693	53.1	119,241,994	52.7	4,037,699	3.4
4	衛生費	7,452,904	3.2	7,391,680	3.3	61,224	0.8
5	産業経済費	3,477,505	1.5	3,327,160	1.5	150,345	4.5
6	土木費	14,427,846	6.2	14,368,675	6.3	59,171	0.4
7	都市整備費	13,767,111	5.9	12,485,752	5.5	1,281,359	10.3
8	環境清掃費	9,496,846	4.1	9,787,366	4.3	△290,520	△3.0
9	教育費	20,821,217	9.0	21,344,810	9.4	△523,593	△2.5
10	公債費	7,872,713	3.4	9,141,099	4.0	△1,268,386	△13.9
11	諸支出金	1,282,099	0.6	1,494,242	0.7	△212,143	△14.2
12	予備費	300,000	0.1	200,000	0.1	100,000	50.0
合計		232,170,676	100.0	226,447,791	100.0	5,722,885	2.5


1 0 事業説明資料


- | | | |
|-----|-----------|-------------|
| (1) | 安全・安心 | P.22 ~ P.37 |
| (2) | 健康・福祉・医療 | P.38 ~ P.47 |
| (3) | 子育て・教育 | P.48 ~ P.57 |
| (4) | 産業・環境 | P.58 ~ P.65 |
| (5) | 観光・文化 | P.66 ~ P.73 |
| (6) | 魅力あるまちづくり | P.74 ~ P.90 |

※ 金額は、表示単位未満を四捨五入していますので、「事業概要」欄の金額の合計と「予算額」欄の数値は一致しない場合があります。

※  地域力に関する事業には、このマークを表示しています。


※  国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。

※  新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

事業名	 総合防災力強化事業 新規
予算額	<u>1億1,233万円</u>
事業のねらい	<p>「大田区総合防災力強化検討委員会」の提言内容を具体化するため、平成24年度補正予算に引き続き、「区民の命を守る」「最低限の生活を守る」視点から大田区総合防災力対策を強化拡充します。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="379 504 1428 728"> <p>1 初期消火用スタンドパイプの複数配備 1,312万円 平成24年度補正予算で初期消火対策として緊急にスタンドパイプを全ての防災市民組織に配備しました。引き続き木造密集地域の延焼拡大を防止するため、2,000世帯を超える大規模な防災市民組織（61組織）に2台目を配備します。</p> <li data-bbox="379 795 1428 1019"> <p>2 新型D級ポンプ（ミニポンプ）の検証導入 294万円 震災時の延焼火災から区民を守るためには、初期消火活動は欠かせません。街頭消火器やスタンドパイプ、C級ポンプの配備の充実とともに、現在配備している古いD級ポンプを、始動が簡単な新型D級ポンプに入れ替えを検証します。</p> <li data-bbox="379 1086 1428 1209"> <p>3 市民消火隊員20・30年表彰 341万円 現行の10年表彰のほかに、新たに市民消火隊員の20・30年表彰を実施します。</p> <li data-bbox="379 1265 1428 1489"> <p>4 ① 臨海部防災市民組織助成 291万円 ② 臨海部被災生活者支援（食糧及び物品） 299万円 臨海部の京浜島、城南島、昭和島の初期消火活動態勢を整備するため、防災市民組織の立ち上げ支援及び非常食糧や災害物品の備蓄をしていきます。</p> <li data-bbox="379 1556 1428 1736"> <p>5 津波総合対策の推進 356万円 津波防災啓発パンフレット、津波防災浸水予想図を作成し配布します。民間建築物所有者と協定を結び津波緊急避難所表示サインを拡充します。公共施設や公園などに海拔表示サインを拡充します。</p> <li data-bbox="379 1803 1428 1982"> <p>6 学校防災活動拠点の整備 2,057万円 避難所となる区立小・中学校を「逃げ込む場所」から「災害に立ち向かう場所」へ機能拡充するため、24年度はモデル校2校で実施しました。25年度は、全地域の18か所の小中学校で展開します。</p>

	<p>7 地域防災力まちなか点検事業の拡充 495 万円 まちなかの危険な場所の確認作業等を通して面的に防災に強いまちづくりを推進するため、24 年度に引き続き 3 か所で実施します。選定した地域毎に検討テーマを設定し、地域防災力を強化するまちづくりを推進します。 24 年度の検討テーマ ① 地域連携を考える～地域全体の共助のしくみづくり～ ② 安否確認・見守りを考える～見守りのしくみづくり～ ③ 救助・援助を考える～いのちを救うしくみづくり～</p> <p>8 地区備蓄倉庫物品の充実 2,698 万円 避難生活者が 20 万人から 23 万人となる新たな被害想定に対応して、毛布や非常食糧の備蓄 3 万人分を、計画的に増やしていきます。</p> <p>9 学校避難所の備蓄物品の充実 1,729 万円 避難所生活でのプライバシーや高齢者や妊産婦などに配慮して、91 か所全ての学校避難所へプライベートテント・エアーマットを備蓄します。</p> <p>10 アレルギー対応ミルクの購入（非常食糧） 185 万円 アレルギーのある乳児の避難生活を想定して、アレルギー対応の粉ミルクを全ての学校避難所へ配備します。</p> <p>11 据置型 P H S 電話の追加配備 441 万円 災害時の情報連絡体制を強化し、情報伝達手段の複線化を図るため、区立小中学校、医療機関・保健所などの災害対応拠点施設に配備します。</p> <p>12 非常配備態勢と緊急非常配備態勢の統合に伴う職員対応訓練の実施 735 万円 24 年度から職員の参集基準を見直したことに伴い、新たに休日・夜間の災害発生を想定して職員初動対応訓練を実施します。</p>																																				
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">担当課 地域振興部 防災課</td> </tr> <tr> <td colspan="4">課長氏名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(4-12)</td> <td style="text-align: center;">河野 秀夫</td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">5 7 4 4 - 1 2 3 4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(1, 2, 3)</td> <td style="text-align: center;">川口 行彦</td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">5 7 4 4 - 1 7 1 2</td> </tr> <tr> <td colspan="4">担当者氏名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(4-②, 8-10)</td> <td style="text-align: center;">上田 哲也</td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">5 7 4 4 - 1 2 3 5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(1, 2, 3, 4-①, 5)</td> <td style="text-align: center;">中村 浩次</td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">5 7 4 4 - 1 6 1 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(6, 7, 12)</td> <td style="text-align: center;">長沼 宏幸</td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">5 7 4 4 - 1 2 3 6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(11)</td> <td style="text-align: center;">渡邊 宗正</td> <td style="text-align: center;">電話</td> <td style="text-align: center;">5 7 4 4 - 1 7 1 3</td> </tr> </table>	担当課 地域振興部 防災課				課長氏名				(4-12)	河野 秀夫	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 4	(1, 2, 3)	川口 行彦	電話	5 7 4 4 - 1 7 1 2	担当者氏名				(4-②, 8-10)	上田 哲也	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 5	(1, 2, 3, 4-①, 5)	中村 浩次	電話	5 7 4 4 - 1 6 1 1	(6, 7, 12)	長沼 宏幸	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 6	(11)	渡邊 宗正	電話	5 7 4 4 - 1 7 1 3
担当課 地域振興部 防災課																																					
課長氏名																																					
(4-12)	河野 秀夫	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 4																																		
(1, 2, 3)	川口 行彦	電話	5 7 4 4 - 1 7 1 2																																		
担当者氏名																																					
(4-②, 8-10)	上田 哲也	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 5																																		
(1, 2, 3, 4-①, 5)	中村 浩次	電話	5 7 4 4 - 1 6 1 1																																		
(6, 7, 12)	長沼 宏幸	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 6																																		
(11)	渡邊 宗正	電話	5 7 4 4 - 1 7 1 3																																		

【1】安全・安心（2）

事業名	 区立保育園・民間保育所における備蓄食材購入 新規
予算額	985万円
事業のねらい	東京都では、「東京都帰宅困難者対策条例」を制定し、大規模災害発生時の一斉帰宅の抑制を推進しています。大規模災害に備え、区内全ての保育施設に3日分の水・食料の備蓄を行うことで子どもたちの安全・安心を図ります。
事業概要	<p>発災後3日間分の水と食料を各保育園等に備蓄します。</p> <p>1 対象施設</p> <p>（1）認可保育所 区立保育園 52園 園児 6,281名 私立保育園 40園 園児 3,402名</p> <p>（2）認証保育所 42園、園児 1,558名</p> <p>（3）定期利用保育室 4室、園児 71名</p> <p>（4）家庭福祉員 47人、受託児 126名</p> <p>2 備蓄品（園児1名当たり）</p> <p>（1）飲料水 500ml ペットボトル 3本／1日 × 3日</p> <p>（2）食料 アルファ米（白米） 3食／1日 × 3日</p>
問合先	担当課 こども家庭部 保育サービス課
	課長氏名 市野 由香里 電話 5744-1276
	担当者氏名 大須賀 浩・市川 忠邦 電話 5744-1279

【1】安全・安心（3）

事業名	☺☺☺ 【災害時要援護者対策の推進】 福祉避難所における防災備蓄物品の確保（高齢者） 新規
	予算額 <u>1,030万円</u>
事業のねらい	要援護高齢者の福祉避難所の開設・運営に向けた整備を進め、災害時要援護者対策を推進します。
事業概要	特別養護老人ホーム 13 施設(予定) 災害時に支援を必要とする高齢者の福祉避難所を開設・運営するために、必要な備蓄品(ポータブルトイレ、マット、非常用照明機器、衛生用品など)を配備します。
問合せ先	担当課 福祉部 高齢福祉課
	課長氏名 中原 賢一 電話 5744-1255
	担当者氏名 佐渡 公一 電話 5744-1252

【1】安全・安心（4）

事業名	☺☺☺ 【災害時要援護者対策の推進】 福祉避難所における防災備蓄物品の確保（障がい者）
	予算額 <u>822万円</u>
事業のねらい	災害時に福祉避難所として開設・運営するために、区立障がい者施設 14 か所に車椅子トイレ、発電機等備品を配備し、体制を整えます。また、民立通所施設 2 か所を新たに福祉避難所として整備するため、備蓄消耗品、備品を配備します。
事業概要	1 区立障がい者施設 622 万円（14 施設(予定)） 必要となる備品（災害対策用車椅子トイレ、非常用階段避難車、発電機、担架）を配備します。 2 民立障がい者施設 200 万円（2 施設(予定)） 備蓄消耗品（衛生用品、生活用品など）、備品（区立施設に準じる災害対策用備品）を配備するための経費を助成します。
問合せ先	担当課 福祉部 障害福祉課
	課長氏名 今岡 正道 電話 5744-1249
	担当者氏名 小泉 直美 電話 5744-1639



事業名	保育園・児童館の耐震補強工事 新規
予算額	<u>4億4,830万円</u>
事業のねらい	耐震診断結果に基づき、必要な改修工事を行うことで、安全・安心で良質な保育環境を整備します。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 東蒲田保育園耐震補強工事実施設計委託 平成 25 年度 実施設計 2 仲六郷保育園耐震補強工事実施設計委託 平成 25 年度 実施設計 3 新井宿保育園耐震補強工事 平成 25 年度 改修工事 4 あっふる池上保育園耐震補強工事 平成 25 年度 改修工事 5 西蒲田児童館大規模改修・耐震補強工事 平成 25 年度 改修工事 6 池上第二保育園耐震補強等改修工事 平成 25 年度 改修工事 7 下丸子保育園・下丸子児童館耐震補強工事 平成 25 年度～平成 26 年度 実施設計及び改修工事 8 矢口第二保育園耐震補強等改修工事 平成 25 年度～平成 26 年度 実施設計及び改修工事 9 田園調布保育園耐震補強等改修工事 平成 25 年度～平成 26 年度 実施設計及び改修工事
問合先	担当課 こども家庭部 子育て支援課・保育サービス課
	課長氏名
	子育て支援課 小畑 功 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 1
	待機児担当副参事 小泉 邦雄 電話 5 7 4 4 - 1 6 4 1
保育サービス課 市野 由香里 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6	
担当者氏名 下青木 茂 電話 5 7 4 4 - 1 6 4 2	

事業名	密集住宅市街地整備促進事業の推進
予算額	3,429万円
事業のねらい	<p>東京都の防災都市づくり推進計画に定める整備地域を中心とする木造住宅の密集地域において、道路・公園等の公共施設の整備及び老朽建築物の建替えを促進し、市街地の防災性向上と居住環境の整備を総合的に行います。</p>
事業概要	<p>1 羽田地区防災まちづくり推進支援 1,182万円</p> <p>東京都の防災都市づくり推進計画において指定された整備地域を含む羽田1～6丁目地区内で、災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民等により構成された「羽田の防災まちづくりの会」の検討成果を踏まえ作成した道路・公園等の整備計画案を地元へ提示し、住宅市街地総合整備事業導入に向けた合意形成を図ってまいります。</p> <p>【区が取り組む主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画案の地元説明会 ・整備計画案に基づく事業計画案策定 ・「羽田の防災まちづくりの会」の活動支援 <p>2 建設資金融資利子補給 2,079万円</p> <p>平成2～13年度にかけて西蒲田・蒲田、大森・北糀谷、蒲田2・3丁目、矢口・下丸子の各地区で行った老朽建築物の建替えのうち、建設資金の一部融資あっせんを行った分を対象に、最長20年間の利子補給を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31件 23棟 <p>3 新たな防火規制の導入に係る周知 168万円</p> <p>東京都建築安全条例で定める「新たな防火規制」の導入に向け区民に周知します。</p>
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課
	課長氏名 落合 邦男 電話 5744-1455
	担当者氏名 池上 明 電話 5744-1338

【1】安全・安心（7）

<p>事業名</p>	<p>耐震診断・改修助成事業</p>
<p>予算額</p>	<p><u>10億6,502万円</u></p>
<p>事業のねらい</p>	<p>大地震による建物の倒壊から区民の生命や財産を守り、災害に強いまちづくりに寄与することを目的に、旧耐震基準で建築された耐震性の低い民間建築物について、耐震化の普及啓発を行うとともに、耐震化費用の一部を助成します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 耐震コンサルタント派遣等 4,427万円 建築物の耐震化についての相談や現地調査を行うための耐震コンサルタント派遣、分譲マンション区分所有者の耐震化に向けた合意形成支援を図るためのアドバイザー派遣等を行います。</p> <p>2 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成 7億6,780万円 大地震時に建物倒壊による道路の閉塞を防止するため、特定緊急輸送道路沿道建築物に対する耐震化助成を行います。 (1) 耐震診断助成 延べ面積に応じて費用の4/5～10/10を助成します。 (2) 耐震改修計画・設計助成 助成対象費用に応じて費用の1/3+200万円～5/6を助成します。 (3) 耐震改修工事助成 延べ面積と助成対象費用に応じて費用の1/6～5/6を助成します。</p> <p>3 住宅・建築物の耐震化助成 2億5,095万円 住宅、マンション、住宅以外の建築物に対する耐震化助成を行います（特定緊急輸送道路沿道建築物を除く）。 (1) 耐震診断助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅10万円(2/3)、マンション100万円(2/3) (2) 耐震改修計画・設計助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅15万円(2/3)、マンション100万円(2/3) (3) 耐震改修工事助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅100万円(1/2)※高齢者等特別加算の場合150万円(2/3)、分譲マンション1000万円(1/2) 賃貸マンション500万円(1/2)</p> <p>4 耐震シェルター・ベッド設置費助成 200万円 家全体の耐震改修工事を行うことが経済的に困難な高齢者等のため、寝室等に設置できる耐震シェルター・耐震ベッドへの費用助成を行います。 助成限度額(助成割合)：50万円(9/10)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課</p> <p>課長氏名 落合 邦男 電話 5744-1455</p> <p>担当者氏名 倉 一郎 電話 5744-1349</p>

事業名	<p style="text-align: center;">【橋梁の整備】</p> <p style="text-align: center;">橋梁の補修</p>
予算額	<p style="text-align: center;">258万円</p>
事業のねらい	<p>橋梁の管理手法をこれまでの事後保全型管理から予防保全型管理へ転換することにより、橋梁の延命化を図り、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性を確保します。</p>
事業概要	<p>橋梁を延命化することにより、将来的な財政負担の軽減及び道路交通の安全性を確保するため、区が管理する162橋のうち152橋を対象として、平成21年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。</p> <p>この計画に基づき、平成25年度は呑川に架かる三十八号人道橋について、補修工事の調査・設計を行います。</p> <p><工事対象橋梁></p> <p>1 三十八号人道橋</p> <p style="padding-left: 2em;">場 所：石川町2-12 から石川町2-19</p> <p style="padding-left: 2em;">供用開始年：昭和27年</p> <p style="padding-left: 2em;">橋の規模：橋長9.89m、平均幅員1.9m</p> <p style="padding-left: 2em;">委託の内容：主桁・床版及び橋台の劣化部の調査と補修工事の設計</p>
問合先	<p>担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課</p>
	<p>課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3726-4319</p>
	<p>担当者氏名 池田 利明 電話 3726-4303</p>

事業名	<p style="text-align: center;">【橋梁の整備】</p> <p style="text-align: center;">橋梁の架替整備</p>
予算額	<p style="text-align: center;">3億7,076万円</p>
事業のねらい	<p>区が管理する橋梁の中で、災害時の緊急道路障害物除去路線等、防災上重要な橋梁は、計画的に架替整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します。</p>
事業概要	<p>平成23年度に策定した橋梁耐震計画で、優先対策橋梁51橋について平成32年度を目標に計画的に整備する事としています。</p> <p>その内、橋梁の架替は、10橋を予定しており、平成24年度末までに1橋完成しました。平成25年度は、呑川に架かる1橋及び環状七号線に架かる1橋の架替工事を平成24年度に引き続き行います。</p> <p>1 架替工事</p> <p>① 新馬込橋（北馬込二丁目28番～中馬込二丁目26番先）</p> <p>工事期間：平成23年度から26年度</p> <p>現橋の供用開始年：昭和14年</p> <p>新橋の規模：橋長40.7m、平均幅員12.8m</p> <p>平成25年度は、環状七号線を夜間一時通行止めしながら、現況橋を撤去し新設橋の架設を行います。</p> <p>撤去・架設工事は、一車線ずつ2回に分けて行います。</p> <p style="text-align: center;">【完成イメージ】</p> <p>[側面（平和島側から望む）および橋面（区道から望む）]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

② 仲之橋（久が原二丁目 12 番～仲池上二丁目 26 番先）

工事期間：平成 22 年度から平成 25 年度

現橋の供用開始年：昭和 43 年

新橋の規模：橋長 13.4m、平均幅員 6.7m

平成 24 年度に橋梁部完成（平成 25 年 3 月）

平成 25 年度は、付帯工事を行います。

【現況状況】



問合先	担当課	都市基盤整備部	建設工事課
	課長氏名	小島 圭二	電話 5 7 6 4 - 0 6 8 9
	担当者氏名	山田 誉・定本 健	電話 5 7 6 4 - 0 7 0 4


事業名	路面下空洞調査 新規
予算額	<u>3,003万円</u>
事業のねらい	<p>震災時の輸送路の要となる緊急道路障害物除去路線およびその他の主要道路を対象として、路面下空洞調査を実施し、安全性を高めます。</p>
事業概要	<p>緊急道路障害物除去路線は、震災時の緊急物資の輸送路の要であり、その他の主要道路は、私たちの日常生活を支えています。</p> <p>路面下空洞調査は、対象路線に探査車（車載型地中レーダー）を走行させ、各種データの解析などから異常箇所を特定します。</p> <p>さらに、この異常箇所を補修していくことで、震災時における緊急道路障害物除去路線の確保と日常時における道路損傷の軽減を図ります。</p> <p>1 路面下空洞調査委託</p> <p>対象路線 緊急道路障害物除去路線およびその他の主要道路 （ただし、平成 24 年度に実施した蒲田まちなみ維持課管内の緊急道路障害物除去路線は除く。）</p> <p>対象延長 242.3 Km</p>
問合先	担当課 都市基盤整備部 糀谷・羽田まちなみ維持課
	課長氏名 久保 輝幸 電話 3741-3154
	担当者氏名 寺林 裕泰 電話 3741-3169

事業名	<p>密集市街地改善のための 「木密地域不燃化10年プロジェクト」への取組み 新規</p>
予算額	<p style="text-align: center;">4,833万円</p>
事業のねらい	<p>東京都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」不燃化特区制度の先行実施地区として指定を受けた「大森中地区」の整備を促進するため、新たな取組みを行います。</p>
事業概要	<p>大森中地区不燃化特区の整備 4,833万円</p> <p>大森中地区は都の「防災都市づくり推進計画」において重点整備地域に指定されており、区は平成23年10月から大森中・糎谷・蒲田地区防災街区整備地区計画（約197ヘクタール）を施行しています。この区域内のうち、「糎谷駅前地区市街地再開発事業施行区域」を含む一部の区域（約80ヘクタール）が、平成24年8月に不燃化特区制度の先行実施地区として都から指定を受けました。</p> <p>このプロジェクトの目標である「市街地の不燃化を促進し、延焼による焼失ゼロの『燃えないまち』を実現」するため、都が実施する固定資産税・都市計画税の減免による税制優遇と併せ、新たに平成32年度までの時限的な取組みを行います。</p> <p>[現在、都と区で具体的な整備プログラムを構築中]</p> <p>【区が取組む主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸建て住宅の不燃化建替え助成 ・壁面後退を伴う建替えに対する奨励金（地区防災道路沿道を対象とした、都市防災不燃化促進事業への上乗せ） ・建替えに関する専門家派遣支援等
問合先	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課</p>
	<p>課長氏名 落合 邦男 電話 5744-1455</p>
	<p>担当者氏名 池上 明 電話 5744-1338</p>


【1】安全・安心（13）


事業名	デジタルサイネージの導入 新規
予算額	<u>1,806万円</u>
事業のねらい	<p>新たな情報発信ツールのひとつとして、区の主要施設にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、災害発生時に防災情報を一斉に素早く配信するとともに、平常時には様々な区政情報を提供します。</p>
事業概要	<p>東日本大震災の経験から、災害時における情報提供の重要性が浮き彫りになりました。これを受け、区の主要施設にデジタルサイネージを設置し、災害発生時に区民や帰宅困難者に必要な情報を一斉配信します。</p> <p>また、平常時には区政情報や議会のライブ映像を放映します。</p> <p>本事業は、民間事業者の広告を放映することで、事業経費を削減するとともに、区内事業者に対して広告掲載の機会を提供し、地域経済の活性化にも寄与します。</p> <p>(1) 設置施設 本庁舎、各特別出張所、区民ホールアブリコ、大田区総合体育館、産業プラザ（計 22 施設）</p> <p>(2) 放映内容 防災情報、行政情報、議会ライブ中継、民間広告等</p>
問合先	<p>担当課 経営管理部 企画財政課</p>
	<p>課長氏名 今井 健太郎 電話 5 7 4 4 - 1 1 2 8</p>
	<p>担当者氏名 盛本 洋介 電話 5 7 4 4 - 1 1 2 2</p>

【1】安全・安心（14）

事業名	 被災地支援ボランティア調整センターの運営																
予算額	<u>6,348万円</u>																
事業のねらい	<p>東日本大震災の被災地及び大田区へ避難している被災者を支援するため、区と区民の協働組織として開設した被災地支援ボランティア調整センターを引き続き運営し、被災地の1日も早い復旧・復興と区内避難者の生活を支えます。</p>																
事業概要	<p>1 被災地（宮城県東松島市）への支援活動 3,809万円</p> <p>(1) 宿泊型ボランティア活動に継続して取り組みます。支援活動用として、大田区と東松島市の往復を大型バスで定期的に運行し、現地には宿泊所も確保します。また、区内高校生のボランティア体験活動も実施します。</p> <p>(2) 津波被害にあった市民の生活再建の支援等を行います。また、コミュニティの再生と被災者同士の交流の場づくり等、各種交流事業を開催します。</p> <p>(3) 東松島市と連携し、高齢者の見守りや孤立化防止等の支援を行います。</p> <p>2 区内避難者への支援活動 299万円</p> <p>(1) 避難者の交流の場として交流会やサロン活動を展開します。</p> <p>(2) 区内の弁護士・司法書士・ケアマネージャー等、専門家と協働で、法律・健康生活等に関する相談事業を実施します。</p> <p>(3) 社会福祉士やケアマネージャーなどが区内の避難者宅を訪問し、ケアが必要な世帯を関係機関へつなげ、避難者の孤立化防止を図ります。</p> <p>(4) 避難者に必要な情報を適時、提供します。</p> <p>3 被災地支援ボランティア調整センター 2,240万円</p> <p>上記1・2の活動の本部として、事務局を常設します。</p>																
問合先	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">担当課</td> <td colspan="3">地域振興部 地域振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td colspan="3">区民協働担当課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白鳥 信也</td> <td>電話</td> <td>5744-1225</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>松木 伸浩</td> <td>電話</td> <td>5744-1204</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 地域振興課			課長氏名	区民協働担当課長				白鳥 信也	電話	5744-1225	担当者氏名	松木 伸浩	電話	5744-1204
担当課	地域振興部 地域振興課																
課長氏名	区民協働担当課長																
	白鳥 信也	電話	5744-1225														
担当者氏名	松木 伸浩	電話	5744-1204														

【1】安全・安心（15）

事業名	 防災塾応用編の実施 新規																
予算額	36万円																
事業のねらい	<p>区民ボランティアが、被災地での活動経験を活かして、大田区で災害の起きたときに災害ボランティアセンターを運営するために必要な知識や技術を習得するための講座を開講します。</p>																
事業概要	<p>1 防災塾（応用編） 18万円</p> <p>（1）対象者 防災塾（基礎編）の修了者を対象とします（30名程度）。</p> <p>（2）講座内容 ボランティアリーダーの役割や、災害ボランティアセンターの設営からボランティアの派遣までについて、実践的な訓練を行います。 あわせて、避難所運営訓練などに参加します。 【4回程度の講座】</p> <p>2 防災塾（基礎編） 18万円</p> <p>（1）対象者 宮城県東松島市における宿泊型ボランティア活動の参加者で、区内災害時の活動に意欲のある方を対象とします（40名程度）。</p> <p>（2）講座内容 大田区の防災対策や災害のメカニズムなど基礎的な知識を学びます。 講座では、区内の木造密集地や狭あい道路・学校避難所などまちを歩き、災害時の危険性とその対応について考えます。 【6回の講座】</p>																
問合先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">地域振興部 地域振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td colspan="3">区民協働担当課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白鳥 信也</td> <td>電話</td> <td>5744-1225</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>松木 伸浩</td> <td>電話</td> <td>5744-1204</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 地域振興課			課長氏名	区民協働担当課長				白鳥 信也	電話	5744-1225	担当者氏名	松木 伸浩	電話	5744-1204
担当課	地域振興部 地域振興課																
課長氏名	区民協働担当課長																
	白鳥 信也	電話	5744-1225														
担当者氏名	松木 伸浩	電話	5744-1204														

事業名	 （仮称）障がい者総合サポートセンターの設置・建設
予算額	<u>6億6,388万円</u>
事業のねらい	<p>障がいのある人の生活を総合的にサポートする「拠点」として相談支援や就労支援、地域交流支援等の機能を設置し、障がい者（児）の地域における自立した生活を支援します。</p> <p>障がいのある人が、サービスを受けるばかりでなく、地域における問題点を主体的に解決するための“発信者”となる「拠点」づくりをめざします。</p>
事業概要	<p>1 建設の概要</p> <p>(1) 予定地 中央四丁目 30 番</p> <p>(2) 敷地面積 約 1,200 m² (予定)</p> <p style="padding-left: 2em;">延床面積 約 3,400 m² (予定)</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 相談支援部門 一般相談、専門相談、連携拠点事業により、充実した相談支援を実施します。</p> <p>(2) 地域交流支援部門 障がい関連情報コーナー、貸館事業等により、障がいのあるなしに関わらず、集い、交流することで、障がいの理解を進め、ささえあいのまちを作る拠点となります。</p> <p>(3) 就労支援部門 障害者就労支援センターを移転し、機能の強化を図ります。</p> <p>(4) 居住支援部門 自立支援(機能訓練・生活訓練)事業を実施し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します。</p> <p>(5) 管理運営部門</p> <p>3 サポートセンター建設工事</p> <p>4 相談支援部門における運営委託事業者選定委員会の実施</p> <p>5 区民周知用報告書（パンフレット）作成等</p> <p><今後のスケジュール></p> <p>平成 25 年度 工事 平成 26 年度 竣工、開設予定</p>
問合先	担当課 福祉部 障害福祉課
	課長氏名 今岡 正道 電話 5 7 4 4 - 1 2 4 9
	担当者氏名 斉藤 禄美 電話 5 7 4 4 - 1 7 0 0


【2】健康・福祉・医療（2）

事業名	地域密着型サービス施設整備費の助成
予算額	2億7,770万円
事業のねらい	<p>高齢者が住み慣れた地域での生活を継続するためには、身近な生活圏域においてサービスの拠点を作り、支援していく必要があります。地域の実情に合わせた地域密着型サービス事業所の整備を促進するため、民間事業者等に対し、都の補助制度を活用した整備費の助成を行います。</p>
事業概要	<p>認知症高齢者グループホームを整備する民間事業者等を公募し、整備費の一部を助成します。</p> <p>1 平成25年度新規整備分 1億8,000万円 (1) 公募対象ユニット数 6ユニット ※1施設3ユニットまで (2) 助成額 1ユニットあたり 3,000万円 (3) 開設 平成25年度（予定）</p> <p>2 平成24年度公募分(継続) 9,770万円 (1) 大森圏域施設 6,570万円 ①ユニット数 3ユニット ②開設 平成25年12月（予定） (2) 糺谷・羽田圏域施設 3,200万円 ①ユニット数 2ユニット ②開設 平成26年1月（予定）</p>
問合先	担当課 福祉部 介護保険課
	課長氏名 曾根 暁子 電話 5744-1266
	担当者氏名 廣田 佳子 電話 5744-1637


【2】健康・福祉・医療（3）


事業名	都市型軽費老人ホームの整備
予算額	1億7,694万円
事業のねらい	用地確保が困難な都市部において、低所得の高齢者が低額な料金で入所できる都市型軽費老人ホームの整備を促進するため、民間事業者に対し、国の交付金と都の補助金を活用した整備費の助成を行います。
事業概要	<p>都市型軽費老人ホームを整備する民間事業者等を公募し、整備費の一部を助成します。</p> <p>1 平成25年度新規整備分 6,000万円 (1) 公募対象数 20人分 ※1施設5～20人 (2) 助成額 定員1人あたり300万円 (3) 開設 平成25年度（予定）</p> <p>2 平成24年度公募分(継続) 1億1,694万円 (1) 大森圏域施設 1,314万円 ①定員 6人 ②開設 平成25年12月（予定） (2) 糀谷・羽田圏域施設 4,800万円 ①定員 20人 ②開設 平成26年1月（予定） (3) 糀谷・羽田圏域施設 5,580万円 ①定員 20人 ②開設 平成25年12月（予定）</p>
問合先	担当課 福祉部 介護保険課 課長氏名 曾根 暁子 電話 5744-1266 担当者氏名 廣田 佳子 電話 5744-1637


【2】健康・福祉・医療（4）

事業名	 高齢者熱中症予防事業 新規
予算額	<u>265万円</u>
事業のねらい	<p>高齢者見守りネットワーク事業の重点事業のひとつとして、高齢者を熱中症から守る対策を実施し、高齢者の地域社会からの孤立化防止を強化します。</p>
事業概要	<p>地域社会からの孤立化を防ぐために取り組んでいる高齢者見守りネットワーク事業では、地域との連携による見守り体制の構築に努めています。</p> <p>この取り組みをさらに強化するとともに、構築されたネットワークを活用して、熱中症発症リスクの高い高齢者に対する予防事業を展開します。</p> <p>事業は、次の3つの取り組みを連動させて効果的に実施します。</p> <p>1 戸別訪問 120万円</p> <p>区職員、さわやかサポート（地域包括支援センター）職員に加え、民生委員の協力も得て、ひとり暮らし高齢者を中心に戸別訪問を行います。</p> <p>熱中症予防に関する情報提供や指導等を行い、ひとり暮らし高齢者等に対して行政や地域社会と接する機会を設けて、自宅での閉じこもり防止につなげていきます。</p> <p>2 セミナー開催 76万円</p> <p>ゆうゆうくらぶ（老人いこいの家）などを活用して、地域住民を対象とした熱中症予防と孤立化防止に関するセミナーを開催します。</p> <p>夏季に関心の高まる熱中症予防をテーマにすることで、ゆうゆうくらぶへの来所を促すとともに、来所者同士の交流機会としても捉えて、見守り機運の醸成を図ります。</p> <p>3 クールスポット設置 69万円</p> <p>ゆうゆうくらぶ（区内28か所）を街なかの涼み処とし、高齢者の買い物や外出時の休憩場所として利用してもらいます。</p> <p>休みながら近所の方同士でおしゃべり等してもらうことで、何気ない交流から、孤立化を防止します。</p>
問合せ先	担当課 福祉部 高齢福祉課
	課長氏名 中原 賢一 電話 5744-1255
	担当者氏名 臼井 正一 電話 5744-1449

【2】健康・福祉・医療（5）


事業名	 介護予防事業の充実 新規												
予算額	<u>1,502万円</u>												
事業のねらい	<p>「寝たきりゼロ」を目標に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けることができるよう、介護予防事業の内容をさらに充実します。</p>												
事業概要	<p>元気高齢者を対象とした一次予防事業では、足腰に不安があっても参加できる事業を、また、区民の関心の高まっている認知症予防については、毎日の生活に取り入れやすい運動が身につく事業を実施します。さらに、社会参加が介護予防にも効果をもたらすことから、ボランティアポイントモデル事業を開始します。</p> <p>要介護状態にならないよう、二次予防事業では、対象者を的確に把握するため、アンケート事業を見直します。また、介護予防プログラムを、民間事業者の手法を活用してPRの向上と、参加しやすい事業に変更します。</p> <p>1 水中ウォーキングの実施 41万円 7～8月を除く毎月1回、定期的に平和島公園水泳場を活用して、膝痛・腰痛にも優しい水中ウォーキング事業を開始します。</p> <p>2 認知症予防体操の実施 66万円 毎月1回、定期的に個人でもできる有酸素運動を取り入れた認知症予防の体操(フリフリグッパ体操)を開始します。</p> <p>3 認知症予防講座の実施 34万円 各自の認知度をテストしながら、日常生活で簡単にできる認知症予防の講座を実施します。</p> <p>4 介護予防ポイント制度シニアボランティアポイントモデル事業の実施 84万円 区内特養でボランティアを継続している高齢者を対象に、ポイント制度を開始します。</p> <p>5 いきいき生活アンケートの拡充 301万円 社会保険加入者のうち、比較的二次予防対象者の多い70・72・74歳に絞ってアンケート調査を行い、効率的に対象者を把握します。</p> <p>6 通所型介護予防事業の拡充 975万円 民間スポーツクラブのノウハウを活用し、運動・栄養・口腔プログラムがセットになった3か月12回の総合プログラムを現在の4クールから12クールへ拡充します。</p>												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">福祉部 介護保険課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>曾根 暁子</td> <td>電話</td> <td>5744-1266</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>高橋 浩</td> <td>電話</td> <td>5744-1624</td> </tr> </table>	担当課	福祉部 介護保険課			課長氏名	曾根 暁子	電話	5744-1266	担当者氏名	高橋 浩	電話	5744-1624
担当課	福祉部 介護保険課												
課長氏名	曾根 暁子	電話	5744-1266										
担当者氏名	高橋 浩	電話	5744-1624										



事業名	<p>【女性特有のがん検診の受診促進】</p> <p>子宮がん検診の拡充 新規</p>												
予算額	1,099万円												
事業のねらい	<p>子宮がん検診において、検診車による検診を導入し、受診率向上を目指します。</p> <p>これにより、子宮がん検診・乳がん検診の同日受診及び休日の受診が可能となり、子育てや仕事等により検診機会を得難い女性の受診促進を図ります。</p>												
事業概要	<p>検診車を所有する医療機関と委託契約を締結し、区検診及び無料クーポン券による検診（国補助事業）において実施します。</p> <p>1 予定数・検診実施期間</p> <table border="1" data-bbox="411 790 1426 1003"> <thead> <tr> <th>検診の種類</th> <th>予定数</th> <th>検診実施期間（医療機関での検診と同期間）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区検診（無料）</td> <td>700人</td> <td>平成25年7月1日～26年1月31日</td> </tr> <tr> <td>無料クーポン券による検診</td> <td>400人</td> <td>平成25年7月1日～26年2月28日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 検診車配置場所 区内施設等4～5か所（予定）</p> <p>3 検診車仕様 マイクロバスタイプ（全長6.99m） ※配置場所・予約人数等によりバスタイプ（全長10.64m）に変更</p> <p>【乳がん検診車（左）と子宮がん検診車（マイクロバスタイプ）（右）を並べて配置】</p> 	検診の種類	予定数	検診実施期間（医療機関での検診と同期間）	区検診（無料）	700人	平成25年7月1日～26年1月31日	無料クーポン券による検診	400人	平成25年7月1日～26年2月28日			
検診の種類	予定数	検診実施期間（医療機関での検診と同期間）											
区検診（無料）	700人	平成25年7月1日～26年1月31日											
無料クーポン券による検診	400人	平成25年7月1日～26年2月28日											
問合先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">保健所 健康づくり課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>杉村 由美</td> <td>電話</td> <td>5744-1660</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>田野邊 薫</td> <td>電話</td> <td>5744-1265</td> </tr> </table>	担当課	保健所 健康づくり課			課長氏名	杉村 由美	電話	5744-1660	担当者氏名	田野邊 薫	電話	5744-1265
担当課	保健所 健康づくり課												
課長氏名	杉村 由美	電話	5744-1660										
担当者氏名	田野邊 薫	電話	5744-1265										

事業名	<p>【女性特有のがん検診の受診促進】</p> <p>乳がん検診の拡充 新規</p>												
予算額	<p style="text-align: center;">914万円</p>												
事業のねらい	<p>検診車による検診を無料クーポン券による検診に加え、区の乳がん検診にも導入し、受診率向上を目指します。</p> <p>これにより、乳がん検診・子宮がん検診の同日受診及び休日の受診が可能となり、子育てや仕事等により検診機会を得難い女性の受診促進を図ります。</p>												
事業概要	<p>区検診のうち無料クーポン券による検診（国補助事業）については、一部既に検診車で検診を実施しています。検診車を所有する医療機関と委託契約を締結し、区検診においても実施します。</p> <p>1 予定数・検診実施期間</p> <table border="1" data-bbox="399 840 1428 943"> <thead> <tr> <th>検診</th> <th>予定数</th> <th>検診実施期間（医療機関での検診と同期間）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区検診</td> <td>780人</td> <td>平成25年7月1日 ～ 平成26年1月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 検診車配置場所 区内施設等 4～5か所（予定）</p> <p>3 検診車仕様 全長 9～10m</p> <p style="text-align: center;">【乳がん検診車（左）と子宮がん検診車（マイクロバスタイプ）（右）を並べて配置】</p> 	検診	予定数	検診実施期間（医療機関での検診と同期間）	区検診	780人	平成25年7月1日 ～ 平成26年1月31日						
検診	予定数	検診実施期間（医療機関での検診と同期間）											
区検診	780人	平成25年7月1日 ～ 平成26年1月31日											
問合先	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">保健所 健康づくり課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>杉村 由美</td> <td>電話</td> <td>5744-1660</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>田野邊 薫</td> <td>電話</td> <td>5744-1265</td> </tr> </table>	担当課	保健所 健康づくり課			課長氏名	杉村 由美	電話	5744-1660	担当者氏名	田野邊 薫	電話	5744-1265
担当課	保健所 健康づくり課												
課長氏名	杉村 由美	電話	5744-1660										
担当者氏名	田野邊 薫	電話	5744-1265										

【2】健康・福祉・医療（8）

<p>事業名</p>	<p>ジェネリック医薬品利用差額通知の実施 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>500万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>高齢化や医療の高度化に伴い増加する医療費の本人負担の軽減や国民健康保険財政の健全化を図るため、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用普及促進に努めています。25年度はジェネリック医薬品を利用した場合の薬剤費本人負担の差額通知を送付します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 対象者 40歳から74歳の高血圧、高脂血症、糖尿病等の長期服薬者のうち、ジェネリック医薬品を利用することで月額1,000円以上の本人負担差額が生じる国民健康保険被保険者 500人</p> <p>2 スケジュール 4～8月 システム改修及び検証 10～11月 通知書出力、突合作業 12月 発送</p> <p>3 経費 500万円 【内訳】システム改修経費 479万円 通知書作成等経費 21万円</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 区民部 国保年金課 課長氏名 小出 和男 電話 5744-1207 担当者氏名 稲川 恒 電話 5744-1211</p>


事業名	発達障害支援事業 新規
予算額	<u>62万円</u>
事業のねらい	発達障害の正しい理解についての情報提供や啓発を行うことによって、早期発見・早期支援につなげます。
事業概要	<p>1 発達障害啓発用パンフレットの作成 区民向けのパンフレットを3種類（乳幼児・学齢期・成人一般向け）作成し、3歳児健康診査や学校などで配布します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作成部数 22,000部 <p>2 シンポジウムの開催 区民向けの講演会・パネルディスカッションを開催し、発達障害に関する啓発・理解を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場：区民ホールアブリコ（予定） ● 定員：200人 <p>3 サポートブック「かけはし」の普及 サポートブック「かけはし」は、本人のプロフィールとライフステージごとの支援内容を記録するものです。生い立ちや医療・療育・教育の情報を整理することにより、継続した支援を受けるためのツールとなります。区ホームページからシートの様式をダウンロードして、クリアフォルダーに整理します。医療機関や学校で発行される各種資料と綴じ込むことによって、一人ひとりの「かけはし」が作られる仕組みです。</p> <p>「かけはし」の見本を作成し、作成・活用講座などを通じて普及を図ります。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※「かけはし」には、「ひらけ！GOMAプロジェクト」の協力を得て、発達障害者が作成したイラストを使用しています。</p>
問合先	担当課 こども家庭部 子育て支援課
	課長氏名 こども発達支援担当課長 小貫 勝 電話 5744-1314
	担当者氏名 澤 健司 電話 5744-1316

事業名	 スポーツ祭東京 2013 の開催 新規												
予算額	2億1,131万円												
事業のねらい	東京都で「スポーツ祭東京 2013（第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会）」が開催されます。大田区では正式競技 1 競技とデモンストレーションとしてのスポーツ行事 4 競技を実施します。												
事業概要	<p>スポーツ祭東京 2013 において、正式競技としてカヌー（スプリント）競技会を開催します。500m 及び 200m それぞれの距離で、カヌーカヤックとカナディ안의 2 種類の競技を実施します。</p> <p>1 正式競技 種目 カヌー（スプリント） 日程 平成 25 年 10 月 4 日～7 日（選手、役員他 1 日約 1,700 名） 会場 京浜南運河（京浜島つばさ公園）に特設カヌー競技場を仮設して行います。</p> <p>2 デモンストレーションとしてのスポーツ行事</p> <p>(1) ゲートボール（大田スタジアム） 平成 25 年 9 月 15 日 (2) ドッジボール（大田区総合体育館） 平成 25 年 9 月 16 日 (3) ハング・パラグライダー（多摩川緑地 区民広場） 平成 25 年 9 月 7 日 (予備日 9 月 8 日) (4) ユニバーサル駅伝（大田スタジアム） 平成 25 年 9 月 29 日</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div> <p>マスコットキャラクター 愛称：ゆりーと</p> </div> </div>												
問合先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">教育総務部 社会教育課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>木田 早苗</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 4 4 6</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>古野 親子</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 4 4 1</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 社会教育課			課長氏名	木田 早苗	電話	5 7 4 4 - 1 4 4 6	担当者氏名	古野 親子	電話	5 7 4 4 - 1 4 4 1
担当課	教育総務部 社会教育課												
課長氏名	木田 早苗	電話	5 7 4 4 - 1 4 4 6										
担当者氏名	古野 親子	電話	5 7 4 4 - 1 4 4 1										

【3】子育て・教育（1）

<p>事業名</p>	<p>待機児童対策の充実 新規</p>																																																						
<p>予算額</p>	<p><u>11億6,248万円</u></p>																																																						
<p>事業のねらい</p>	<p>保育園待機児童の解消を進めるため、「大田区保育サービス基盤拡充のための3か年プラン」の平成25年度目標である300人の保育サービス定員増を図るとともに、地域の保育ニーズを踏まえた多様な保育サービスを提供していきます。</p>																																																						
<p>事業概要</p>	<p>賃貸物件を活用したテナント型の認可保育所、認証保育所の整備ほか、老朽化に伴う区立保育園の改築により定員を拡充します。グループ保育室の開設を中心に家庭福祉員制度の拡充を図ります。</p> <p>また、パートタイム勤務など、多様な就労形態等に対応した保育サービスの提供に向け定期利用保育事業を拡充します。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">区立保育園の改築 六郷保育園（実施設計委託）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,394万円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>民間保育所への開設費用等の助成 (1)テナント型認可保育所新設補助（3施設） (2)保育園入所者運営費（拡充分） (3)民間保育所に対する法外援護（拡充分）</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">7億6,722万円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>認証保育所開設支援 (1)開設準備経費補助（4施設） (2)運営費補助（拡充分） (3)保護者負担軽減補助</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">2億8,526万円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>定期利用保育事業に係る運営費補助 (1)大田区指定保育室を定期利用保育室に移行（4施設） (2)私立認可保育所における定期利用保育事業(1施設)</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">8,537万円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>家庭福祉員制度経費（拡充分） 家庭福祉員運営補助（古川グループ保育室）</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">1,070万円</td> </tr> </table>	1	区立保育園の改築 六郷保育園（実施設計委託）	1,394万円	2	民間保育所への開設費用等の助成 (1)テナント型認可保育所新設補助（3施設） (2)保育園入所者運営費（拡充分） (3)民間保育所に対する法外援護（拡充分）	7億6,722万円	3	認証保育所開設支援 (1)開設準備経費補助（4施設） (2)運営費補助（拡充分） (3)保護者負担軽減補助	2億8,526万円	4	定期利用保育事業に係る運営費補助 (1)大田区指定保育室を定期利用保育室に移行（4施設） (2)私立認可保育所における定期利用保育事業(1施設)	8,537万円	5	家庭福祉員制度経費（拡充分） 家庭福祉員運営補助（古川グループ保育室）	1,070万円																																							
1	区立保育園の改築 六郷保育園（実施設計委託）	1,394万円																																																					
2	民間保育所への開設費用等の助成 (1)テナント型認可保育所新設補助（3施設） (2)保育園入所者運営費（拡充分） (3)民間保育所に対する法外援護（拡充分）	7億6,722万円																																																					
3	認証保育所開設支援 (1)開設準備経費補助（4施設） (2)運営費補助（拡充分） (3)保護者負担軽減補助	2億8,526万円																																																					
4	定期利用保育事業に係る運営費補助 (1)大田区指定保育室を定期利用保育室に移行（4施設） (2)私立認可保育所における定期利用保育事業(1施設)	8,537万円																																																					
5	家庭福祉員制度経費（拡充分） 家庭福祉員運営補助（古川グループ保育室）	1,070万円																																																					
<p>問合せ先</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">担当課</td> <td colspan="2">こども家庭部</td> <td colspan="2">子育て支援課・保育サービス課</td> </tr> <tr> <td colspan="6">課長氏名</td> </tr> <tr> <td>子育て支援課</td> <td>小畑 功</td> <td>電話</td> <td colspan="3">5744-1271</td> </tr> <tr> <td>待機児担当副参事</td> <td>小泉 邦雄</td> <td>電話</td> <td colspan="3">5744-1641</td> </tr> <tr> <td>保育サービス課</td> <td>市野 由香里</td> <td>電話</td> <td colspan="3">5744-1276</td> </tr> <tr> <td colspan="6">担当者氏名</td> </tr> <tr> <td>（上記1）</td> <td>下青木 茂</td> <td>電話</td> <td colspan="3">5744-1642</td> </tr> <tr> <td>（上記2,3,4）</td> <td>七田 哉</td> <td>電話</td> <td colspan="3">5744-1277</td> </tr> <tr> <td>（上記5）</td> <td>柴田 健一</td> <td>電話</td> <td colspan="3">5744-1277</td> </tr> </table>	担当課		こども家庭部		子育て支援課・保育サービス課		課長氏名						子育て支援課	小畑 功	電話	5744-1271			待機児担当副参事	小泉 邦雄	電話	5744-1641			保育サービス課	市野 由香里	電話	5744-1276			担当者氏名						（上記1）	下青木 茂	電話	5744-1642			（上記2,3,4）	七田 哉	電話	5744-1277			（上記5）	柴田 健一	電話	5744-1277		
担当課		こども家庭部		子育て支援課・保育サービス課																																																			
課長氏名																																																							
子育て支援課	小畑 功	電話	5744-1271																																																				
待機児担当副参事	小泉 邦雄	電話	5744-1641																																																				
保育サービス課	市野 由香里	電話	5744-1276																																																				
担当者氏名																																																							
（上記1）	下青木 茂	電話	5744-1642																																																				
（上記2,3,4）	七田 哉	電話	5744-1277																																																				
（上記5）	柴田 健一	電話	5744-1277																																																				

【3】子育て・教育（2）


事業名	 子ども家庭支援センター六郷分室の開設 新規									
予算額	<u>1,873万円</u>									
事業のねらい	（仮称）仲六郷二丁目複合施設の地域子育て支援機能として、子ども家庭支援センター六郷分室を開設し、子ども及び家庭を対象にした総合的な子育て支援を行い、子どもの健全な育成に寄与します。									
事業概要	<p>1 実施事業</p> <p>（1）子育てひろば 子育てに関する悩みを相談したり、親子が、安心して過ごすことができる居場所や交流の場を提供し、適切な子育て支援の情報提供などを通して育児不安の解消を図っていきます。</p> <p>（2）一時保育室</p> <p>①一時預かり事業 在宅で子育てをする家庭への支援を目的として、理由を問わず利用できる一時的な預かりを行い、保護者の心理的・身体的負担の軽減を図ります。</p> <p>②定期利用保育事業 パートタイム等の短時間勤務等で、一定程度継続的に保育が必要な方の多様な保育ニーズに対応していくため、平成26年4月実施に向けて準備を行います。</p> <p>（3）ファミリー・サポート・センター事業 育児のお手伝いをしてほしい方（利用会員）と育児のお手伝いをしたい方（提供会員）を結ぶ、会員制の育児互助組織の運営を支援します。</p> <p>2 開設時期（予定） 平成26年2月</p>									
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td>こども家庭部</td> <td>子ども家庭支援センター</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>堀 恵子</td> <td>電話 5753-1153</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>河野 佳恵</td> <td>電話 5753-1153</td> </tr> </table>	担当課	こども家庭部	子ども家庭支援センター	課長氏名	堀 恵子	電話 5753-1153	担当者氏名	河野 佳恵	電話 5753-1153
担当課	こども家庭部	子ども家庭支援センター								
課長氏名	堀 恵子	電話 5753-1153								
担当者氏名	河野 佳恵	電話 5753-1153								


【3】子育て・教育（3）

事業名	こども発達センターわかばの家の事業充実 新規
予算額	<u>519万円</u>
事業のねらい	心身の発達に遅れや偏り、その疑いのある子供とその保護者に対する「切れ目のない継続的支援」が求められています。わかばの家の卒園児を中心としたアフターケア事業を実施します。
事業概要	<p>1 趣旨</p> <p>わかばの家は小学校就学前の幼児を対象としているため、就学後は支援が途切れていました。平成24年度における卒園児アフターケア事業の試行を踏まえ、25年度は卒園児童やその保護者に対しての支援を通年で実施します。</p> <p>2 事業のあらまし</p> <p>(1) 対象 わかばの家を卒園した児童（小学校1年生～3年生）及びその保護者</p> <p>(2) 実施日時 月1回・土曜日、1回90分（予定）</p> <p>(3) 会場 わかばの家 本館</p> <p>(4) 内容</p> <p>①児童に対する支援 小集団による遊びの場を通して、児童相互の交流を図ります。場の設定にあたっては、参加児童の特性や発達状況をふまえたものとします。</p> <p>②保護者に対する支援 保護者相互の交流・情報交換や学習の機会を提供するとともに、必要に応じて、個別の助言を行います。</p>
問合先	担当課 こども家庭部 こども発達センターわかばの家
	課長氏名 小貫 勝 電話 3 7 5 7 - 7 7 6 1
	担当者氏名 直井 礼子 電話 3 7 5 7 - 7 7 6 1

【3】子育て・教育（4）


<p>事業名</p>	<p>すこやか赤ちゃん訪問事業の充実</p>																														
<p>予算額</p>	<p><u>3, 258万円</u></p>																														
<p>事業のねらい</p>	<p>家庭訪問希望の有無にかかわらず生後4か月までのすべての家庭に保健師・助産師が訪問し、子育ての孤立化を防ぐため、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行うとともに、適切な支援を行なうことを目的に事業の拡充を図ります。</p>																														
<p>事業概要</p>	<p>1 すこやか赤ちゃん訪問事業 3,074万円 保健師・助産師による全戸訪問により、体重測定を含む乳児の観察・産婦への産後うつスクリーニングテスト（自記式）・育児相談を充実します。 さらに、地域の子育てグループや民間の社会資源等の必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては、養育支援家庭訪問事業など適切なサービスに早期に結びつけ、地域での子育てを支援します。</p> <p>2 養育支援家庭訪問事業 184万円 保健所の「すこやか赤ちゃん訪問事業」と連携し、生後4か月までの乳児の養育に困難を抱えている家庭を対象に実施します。 乳児の簡易な育児相談や育児の手助けなど訪問による支援を行い、出産後間もない乳児家庭の孤立化を防ぎ、子育て不安を軽減します。</p>																														
<p>問合せ先</p>	<table border="0"> <tr> <td>担当課</td> <td>(上記1)</td> <td>保健所</td> <td>健康づくり課</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記2)</td> <td>こども家庭部</td> <td>子ども家庭支援センター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>(上記1)</td> <td>杉村</td> <td>由美</td> <td>電話 5744-1660</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記2)</td> <td>堀</td> <td>恵子</td> <td>電話 5753-1153</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>(上記1)</td> <td>金子</td> <td>江理子</td> <td>電話 5744-1683</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記2)</td> <td>佐藤</td> <td>京子</td> <td>電話 5753-7830</td> </tr> </table>	担当課	(上記1)	保健所	健康づくり課			(上記2)	こども家庭部	子ども家庭支援センター		課長氏名	(上記1)	杉村	由美	電話 5744-1660		(上記2)	堀	恵子	電話 5753-1153	担当者氏名	(上記1)	金子	江理子	電話 5744-1683		(上記2)	佐藤	京子	電話 5753-7830
担当課	(上記1)	保健所	健康づくり課																												
	(上記2)	こども家庭部	子ども家庭支援センター																												
課長氏名	(上記1)	杉村	由美	電話 5744-1660																											
	(上記2)	堀	恵子	電話 5753-1153																											
担当者氏名	(上記1)	金子	江理子	電話 5744-1683																											
	(上記2)	佐藤	京子	電話 5753-7830																											

事業名	 学校支援地域本部事業															
予算額	<u>3,523万円</u>															
事業のねらい	<p>地域が“学校の応援団”として学校教育活動に関わり、「家庭、学校、地域」が一体となって学校教育を支える地域主体の組織の活動を支援します。</p>															
事業概要	<p>学校支援地域本部は、学校の周辺住民、児童・生徒の保護者を中心に学校を支援しようとする地域の方々に構成された組織です。学校支援地域本部では、学校支援コーディネーターが学校と地域の橋渡し役となり、学校の求めに応じ、学校図書館の運営支援や校庭や花壇等の整備、学習サポート、部活動・行事への支援等、その学校の特性や実情に合わせて活動を行っています。</p> <p>地域の大人が学校教育活動に積極的に関わることで、子どもの教育をより豊かなものとするとともに、大人も自らの経験や知識を役立て、学校支援の活動を通して地域と学校の連携により絆が深まり、地域全体の活性化にもつながることが期待されます。</p>															
	<p>平成21年度にモデル事業としてスタートした学校支援地域本部ですが、25年度中には全ての区立小学校(59校)・中学校(28校)への設置を予定しています。</p> <table border="1" data-bbox="427 1144 1302 1476" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年 1月末日現在</td> <td>39校</td> <td>11校</td> <td>50校</td> </tr> <tr> <td>平成25年度 設置(予定)数</td> <td>20校</td> <td>17校</td> <td>37校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59校</td> <td>28校</td> <td>87校</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	合計	平成25年 1月末日現在	39校	11校	50校	平成25年度 設置(予定)数	20校	17校	37校	合計	59校	28校
	小学校	中学校	合計													
平成25年 1月末日現在	39校	11校	50校													
平成25年度 設置(予定)数	20校	17校	37校													
合計	59校	28校	87校													
問合先	担当課 教育総務部 社会教育課															
	課長氏名 木田 早苗 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 6															
	担当者氏名 小坂 幹夫 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 3															

事業名	 校庭の芝生化（多摩川小学校）																		
予算額	<u>1億776万円</u>																		
事業のねらい	<p>広い敷地を有する学校の校庭を活用し芝生化することで、ヒートアイランド対策とともに、児童に対する環境学習の充実を図ります。</p>																		
事業概要	<p>1 新規工事 芝生面積 概ね 2,200 m²（予定） 設計委託費 工事請負費 備品購入費等</p> <p>2 維持管理 芝刈り等の業務は、学校、P T A、自治会・町会等による維持管理組織が実施します。また、専門業者による定期点検・管理指導を行います。 平成 26 年度～ 126 万円</p> <p>〈参考〉 実績</p> <table border="1" data-bbox="598 1153 1201 1357"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>施工年</th> <th>芝生面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新宿小</td> <td>19</td> <td>2, 170 m²</td> </tr> <tr> <td>中富小</td> <td>20</td> <td>335 m²</td> </tr> <tr> <td>清水窪小</td> <td>20</td> <td>187 m²</td> </tr> <tr> <td>久原小</td> <td>23</td> <td>243 m²</td> </tr> <tr> <td>雪谷小</td> <td>24</td> <td>2, 564 m²</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	施工年	芝生面積	新宿小	19	2, 170 m ²	中富小	20	335 m ²	清水窪小	20	187 m ²	久原小	23	243 m ²	雪谷小	24	2, 564 m ²
学校名	施工年	芝生面積																	
新宿小	19	2, 170 m ²																	
中富小	20	335 m ²																	
清水窪小	20	187 m ²																	
久原小	23	243 m ²																	
雪谷小	24	2, 564 m ²																	
問合先	<p>担当課 教育総務部 教育総務課</p> <p>課長氏名 施設担当課長 中山 順博 電話 5 7 4 4 - 1 4 3 0</p> <p>担当者氏名 （事務）徳留 申夫 （建築）安井 豊文 電話 5 7 4 4 - 1 3 9 9</p>																		

事業名	校舎等の改築・改修
予算額	<u>13億4,101万円</u>
事業のねらい	児童数の増加や校舎の老朽化等に対応するため校舎を改築・改修します。
事業概要	<p>1 嶺町小学校校舎等の改築 2億8,631万円</p> <p>(1) 施設の概要 所在地：田園調布南6番10号</p> <p>(2) スケジュール概要（予定）</p> <p>平成23年度～26年度 仮設体育館リース 平成23年度 既存体育館・プール解体 平成23年度～24年度 普通教室棟建設工事（Ⅰ期工事） （竣工予定 平成25年3月） 平成24年度～25年度 既存校舎解体 平成25年度～26年度 体育館棟建設工事（Ⅱ期工事） （竣工予定 平成27年3月） 平成27年度 外構工事</p> <p>2 東六郷小学校校舎の改築 基本・実施設計委託 1億134万円</p> <p>(1) 施設の概要 所在地 東六郷二丁目3番1号</p> <p>(2) スケジュール概要（予定）</p> <p>平成23年度 基本構想・基本計画委託 平成24年度～25年度 基本設計・実施設計委託 平成25年度～29年度 仮設体育館リース 平成25年度～26年度 既存体育館解体 平成26年度～27年度 普通教室棟建設工事（Ⅰ期工事） 平成27年度～28年度 既存校舎解体 平成28年度 体育館棟建設工事（Ⅱ期工事） （竣工予定 平成29年3月） 平成29年度 外構工事</p>

	<p>3 志茂田小学校・志茂田中学校の改築 基本・実施設計委託 1億3,143万円</p> <p>(1) 施設の概要 志茂田小学校 所在地 西六郷一丁目4番2号 志茂田中学校 所在地 西六郷一丁目4番10号</p> <p>(2) スケジュール概要(予定) 平成24年度 基本構想・基本計画委託 平成25年度～26年度 基本設計・実施設計委託 平成27年度～30年度 建設工事</p> <p>4 改修設計委託 2,245万円</p> <p>(1) 施設の概要 矢口東小学校 所在地 東矢口三丁目9番20号 東糀谷小学校 所在地 東糀谷五丁目18番23号 南六郷中学校 所在地 南六郷三丁目2番1号</p> <p>(2) スケジュール概要(予定) 平成25年度 改修設計委託 平成26年度 改修工事</p> <p>5 改修工事 7億9,948万円</p> <p>(1) 施設の概要 馬込小学校 所在地 南馬込一丁目34番1号 都南小学校 所在地 本羽田三丁目15番2号 中富小学校 所在地 大森東五丁目6番24号 大森第二中学校 所在地 大森北六丁目18番1号</p> <p>(2) スケジュール概要(予定) 平成24年度 改修設計委託 平成25年度 改修工事</p>
問合先	<p>担当課 教育総務部 教育総務課</p>
	<p>課長氏名 施設担当課長 中山 順博 電話 5744-1430</p>
	<p>担当者氏名 1・5(建築)安井豊文(電気)川添立雄(設備)牧野徹也 2・5武井聖司 3・4岡田光夫 電話 5744-1399</p>

事業名	 サイエンス・コミュニケーション科新設 新規
予算額	90万円
事業のねらい	<p>おおたサイエンススクール（清水窪小学校）において、サイエンス・コミュニケーション科を新設し、理科教育の充実を図るとともに、理科好きな子どもを増やします。</p>
事業概要	<p>清水窪小学校では、これまで東京工業大学の教授による特別授業や大学施設での体験学習などを実施しているほか、生活科や総合的な学習の時間で、積極的に科学やものづくりなどの理科に関連する内容の授業を行っています。</p> <p>平成25年度からは、特別の教育課程として文部科学省の認可を受け、サイエンス・コミュニケーション科として、新たに同校の全学年を対象に、年間35時間の指導を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新教科のねらい <p>児童の科学的思考力及び表現力の育成を図り、我が国における科学技術を支え国際的に活躍する人材育成を目指します。</p> 2 カリキュラムの概要 <p>これまでの生活経験及び理科、図画工作などの学習で得た知識をもとに、さまざまな実験や観察、その性質を使った道具やおもちゃの製作、科学史、科学の発展に寄与した偉人などについての調べ学習、ICTを活用した発表活動などを行います。</p> 3 情報の提供・発信 <p>サイエンス・コミュニケーション科の授業を、年間7回授業公開するとともに、ホームページによる情報の提供を行うなど、積極的に保護者・地域に発信し、その成果を広めます。</p>
問合先	担当課 教育総務部 指導課
	課長氏名 小黒 仁史 電話 5744-1434
	担当者氏名 桜井 健一 電話 5744-1435

【3】子育て・教育（9）


事業名	児童・生徒用新聞教材 新規
予算額	<u>104万円</u>
事業のねらい	区立小・中学校の児童・生徒の学習教材として新聞を購入し、子ども達の活字離れ・国語力の低下等を改善するために活用します。
事業概要	<p>子ども達の活字離れを改善し、国語力の向上を図るため、小・中学校全校において複数の新聞を児童・生徒の学習教材として購入します。</p> <p>各学校での新聞活用により、子ども達が新聞を通して社会への関心を高め、視野を広げるためのきっかけづくりができるよう、より有意義な活用を図っていきます。</p> <p>1 対象校 区立小学校・中学校全校（小学校 59 校、中学校 28 校）</p> <p>2 購入数等 1 校あたり、新聞 6 紙を毎日 2 部ずつ</p> <p>3 新聞の活用例</p> <p>児童・生徒が互いに新聞の記事を紹介し合ったり、記事を基にスピーチやコメントを発表したりする材料として活用します。また、道徳の資料や社会科、国語、理科などの授業における資料として幅広く活用していきます。</p>
問合先	担当課 教育総務部 学務課・指導課
	課長氏名 水井 靖・小黒 仁史 電話 5 7 4 4 - 1 4 2 6
	担当者氏名 豊田 清彦・佐藤 公信 電話 5 7 4 4 - 1 4 2 7



【4】産業・環境（1）


<p>事業名</p>	<p>新製品・新技術開発支援事業 新規</p>									
<p>予算額</p>	<p><u>9,236万円</u></p>									
<p>事業のねらい</p>	<p>区内中小企業が取り組む新製品・新技術開発を支援することにより、区内中小企業の技術力、製品開発能力の向上を図り、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化に寄与します。</p>									
<p>事業概要</p>	<p>1 開発ステップアップ助成・実用化製品化助成</p> <p>（1）開発ステップアップ助成 企画・設計から試作開発までに要する経費の一部を助成します。</p> <p>①対象及び助成限度額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員が10名以上の区内中小製造業者 1,000万円 ・区内中小企業者 500万円 <p>②助成率：助成対象経費の2／3</p> <p>（2）実用化製品化助成 試作段階の開発を終え、製品・技術の市場投入に向けた取り組みに要する経費の一部を助成します。</p> <p>①対象及び助成限度額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員が10名以上の区内中小製造業者 1,000万円 ・区内中小企業者 500万円 <p>②助成率：助成対象経費の2／3</p> <p>2 開発コラボ助成 企業とインダストリアルデザイナーとをマッチングし、マーケティング調査や販路開拓等を含め“社会的課題解決のための製品開発”や“売れる製品開発”にプロジェクトで取り組む経費を助成します。</p> <p>①対象及び助成限度額 区内中小企業者 300万円（2年度に分けて助成）</p> <p>②助成率：助成対象経費の2／3</p> <p>※企業への助成金とは別にデザイナーには、150万円（2年度分）を支援します。</p>									
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td>産業経済部</td> <td>産業振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>町田 達彦</td> <td>電話 3733 - 6124</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>佐藤 信也</td> <td>電話 3733 - 6183</td> </tr> </table>	担当課	産業経済部	産業振興課	課長氏名	町田 達彦	電話 3733 - 6124	担当者氏名	佐藤 信也	電話 3733 - 6183
担当課	産業経済部	産業振興課								
課長氏名	町田 達彦	電話 3733 - 6124								
担当者氏名	佐藤 信也	電話 3733 - 6183								


【4】産業・環境（2）

<p>事業名</p>	<p>大田区の将来を担う優秀技術者表彰の創設 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><u>44万円</u></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>区内で活躍する、次世代のものづくりを担う優秀な技術者を表彰します。区内企業は若手人材の不足、後継者の育成等に苦慮していますが、表彰者には大田のものづくりの魅力へのPR等にご協力いただくことで、若手人材確保や大田区工業のイメージアップを図ります。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>【表彰の概要】 大田区の将来を担う優秀技術者を表彰することで、区内企業の人材確保、大田のものづくりのイメージアップへとつなげるほか、表彰者自身のモチベーションアップ、また優秀技術者を輩出した企業の信頼度向上へも貢献します。 なお、対象は30～50代の区内企業の従業者です。</p> <p>【応募の要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募者の勤務する企業からの推薦であること ・ 当該企業に5年以上勤務しており、概ね10年以上の経験があること ・ 大田区のものづくりの将来を担うにふさわしい人物であること <p>【平成25年度募集スケジュール（予定）】 推薦期間：平成25年9月～10月 審査：平成25年11月～平成26年1月 表彰者決定：平成26年2月</p>												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">産業経済部</td> <td style="width: 35%;">産業振興課</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>町田 達彦</td> <td>電話</td> <td>3733-6124</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>西川 恭子</td> <td>電話</td> <td>3733-6183</td> </tr> </table>	担当課	産業経済部	産業振興課		課長氏名	町田 達彦	電話	3733-6124	担当者氏名	西川 恭子	電話	3733-6183
担当課	産業経済部	産業振興課											
課長氏名	町田 達彦	電話	3733-6124										
担当者氏名	西川 恭子	電話	3733-6183										


事業名	 医工連携事業の充実 新規
予算額	961万円
事業のねらい	<p>大田区企業の優れた加工技術・技能を活用して、国内外を問わず成長市場である医療関連機器分野への参入促進を図ります。</p>
事業概要	<p>長年日本のものづくりを支えてきた大田区の有する高度基盤技術・技能を活用して、成長市場である医療関連機器分野に新たに参入できるように、医工連携を推進します。医療現場のニーズを把握し、大田区企業の蓄積された優れた技術を用いて、医療機器・ヘルスケア等における課題解決、そして、事業化に向けた入口から出口までを一貫して支援する体制を整えます。</p> <p>また、大田区企業の得意とする設計、試作、提案に及ぶ高い技術力を国内外における医療関連の企業・機関にPRを行い、取引拡大に努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産学連携コーディネーターの増員（医工連携） 277万円 平成24年度に開設した医工連携支援センターを中心に、増大する病院・大学のニーズに対し大田区企業が連携して取り組む研究開発案件を支援していきます。 2 医工連携支援委託 105万円 医療系コンサルティング機関に委託を行い、マーケティング支援、医療機器製造販売認定企業とのマッチング支援、薬事法対応支援を行います。 3 国内見本市出展支援 257万円 大田区企業に、医療機器の設計・製造に関するアジア最大の展示会「MEDTEC Japan」への出展を促し、医療分野における国内取引の拡大に努めます。 4 海外見本市出展支援 322万円 大田区企業の医療分野における海外展開を支援するため、ドイツで開催される医工連携をテーマとした展示会「COMPAMED」に出展し、欧州をはじめ海外市場の開拓を行います。
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課 （公益財団法人 大田区産業振興協会 事業グループ）
	課長氏名 奥田 耕士 電話 3733-6402
	担当者氏名 相馬 博 電話 3733-6144

事業名	  受発注相談 新規 （農工連携セミナー及びフード商談会の新規開催）
予算額	45万円
事業のねらい	<p>区内の中小企業に対し、新規顧客開拓や新事業展開など、取引の拡大につながる様々な取り組みを展開し、区内産業の活性化を目指します。</p>
事業概要	<p>これまで取り組んでいる事業に加え、平成25年度は以下の事業を追加し、区内中小企業の取引拡大に努めます。</p> <p>1 農工連携セミナー 36万円 大田区内の中小企業の技術力活用が期待される農業分野への理解を深め、農業の生産性向上に寄与する技術支援や新製品開発の実現など、区内中小企業の新分野進出につながるためのセミナーを開催します。</p> <p>2 フード商談会 9万円 商業分野への支援強化のため、多様なニーズを持つ食品分野の商談会を開催し、区内の飲食料品製造業者（製造・小売も含む中小企業）の商機拡大を図ります。</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課 （公益財団法人 大田区産業振興協会 取引促進グループ）
	課長氏名 取引促進グループディレクター 上原 正樹 電話 3733-6145
	担当者氏名 堀江 豊 電話 3733-6126

事業名	 【みどりの条例関係事業】 「大田区緑の基本計画」の推進
予算額	273万円
事業のねらい	平成23年3月に大田区緑の基本計画を改定し、大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」を策定しました。この計画を着実に推進するため、区民参加のグリーンプランおおた推進会議運営による透明性のある進行管理を行なうとともに、みどりのまちづくり推進に関する施策の調査・検討を行います。
事業概要	<p>1 グリーンプランおおた推進会議の運営</p> <p>平成23年度に、学識経験者、区民公募による区民、業界の代表などで構成された「グリーンプランおおた推進会議」が設立されました。</p> <p>この会議では、グリーンプランおおたを推進するために、区からみどりに関する事業の内容・結果を報告し、推進委員がその実施プロセス等を評価・検証します。</p> <p>平成24年度は「みどりの条例」等を検討しました。今後も施策や事業の推進、見直しを検討していきます。このことにより、会議の中で施策、事業等の透明性が確保されるだけでなく、検討された結果はグリーンプランおおたの施策に反映していきます。</p> <p>2 みどりの施策調査委託</p> <p>区民一人ひとりが1平方メートルの緑をつくり育てることによって、緑被率を高め、緑豊かなまちなみづくりを進めるため、「グリーンプランおおた」の施策である「1平方メートルの緑づくり」や「まちのみどりづくり支援」を推進していく調査検討を進めます。</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課
	課長氏名 荒井 昭二 電話 5744-1331
	担当者氏名 大橋 英一 電話 5744-1303


事業名	 【みどりの条例関係事業】 保護樹木・樹林等の保全
予算額	3,346万円
事業のねらい	<p>みどりは、私たちに安らぎや潤いを与えるとともに、大気の浄化やヒートアイランド現象の緩和など、さまざまな恩恵をもたらしています。こうした視点に立ち、私有地のみどりも公共の財産の一つと捉え、区内に残された貴重な樹木や樹林を保護していくため、一定基準以上の樹木、樹林を保護指定し、管理経費、せん定経費の助成を行なっています。</p> <p>保護対象の拡充、支援内容の見直しを図り、さらに樹木や樹林の保護を推進します。</p>
事業概要	<p>1 管理経費 軽せん定、病虫害の防除、落葉落枝等の処理等の日常の管理に要する経費とし、年に1回交付します。</p> <p>2 せん定経費 保護樹木等を良好で安全かつ適正な状態に保つために必要な基本的なせん定経費及び当該せん定作業で発生する廃棄物の処理に要する経費とします（保護する性樹木及び保護生垣に係るものを除きます）。</p> <p>補助は一人の所有者等に対して、保護樹木等の種別に関わらず3年度に1回とします。</p>
問合先	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 岩田 美恵子 電話 5744-1361
	担当者氏名 阿部 康克 電話 5744-1366

【4】産業・環境（7）

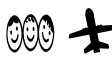
事業名	 「18色の緑づくり」支援
予算額	221万円
事業のねらい	<p>地域力の基盤である18の特別出張所管内のまちの個性を、地域住民の連帯と協働の象徴として、地域の花や木のような「まちの緑」で表現し、18色の緑のまちづくりを進めます。</p>
事業概要	<p>自治会・町会、商店街、各種団体を対象とした「まちの緑」の意向調査や、既に各地域で行われている緑づくりの情報をもとに、区内の「まちの緑」のデザインイメージを作成します。それを踏まえ、地域の花や木を育て地域力を活かした緑づくりを行う団体に花の種等を配付し、緑のまちづくりを推進します。</p>
問合せ	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 岩田 美恵子 電話 5744-1361
	担当者氏名 阿部 康克 電話 5744-1366

【4】産業・環境（8）

事業名	エコライフ支援事業（助成事業）
予算額	8,640万円
事業のねらい	<p>太陽光などの再生可能エネルギーは、二酸化炭素の排出が非常に少ないことから、地球温暖化防止への取組みを進めるうえで重要な資源です。</p> <p>再生可能エネルギーの積極的活用の推進を図るために、太陽エネルギー利用機器を新たに設置する区民に対して、その経費の一部を助成します。</p>
事業概要	<p>太陽エネルギー利用機器設置補助事業</p> <p>（1）太陽光発電システム 45,000円/kW 上限27万円</p> <p>（2）太陽熱温水器 9,000円/m² 上限10万円</p> <p>（3）太陽熱ソーラーシステム 16,500円/m² 上限20万円</p>
問合せ	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 岩田 美恵子 電話 5744-1361
	担当者氏名 吉田 実 電話 5744-1362

事業名	 住民参加型植樹管理（おおた花街道） 新規
予算額	258万円
事業のねらい	<p>区道上の植栽帯の管理を地域の方々に主体となって実施していただくことで、地域ごとに特色ある景観を地域の皆様とともにつくり上げ、地域力を活かした花と緑の魅力あるまちなみをめざします。</p>
事業概要	<p>1 田園調布二丁目地区（平成 22 年度から実施） 地域の方々が選定した植物を年 3 回植替え、管理します。 従来からのエリアを拡充します。 47 m²（合計）</p> <p>2 鶉の木二・三丁目地区（平成 23 年度から実施） 地域の方々が選定した植物を年 3 回植替え、管理します。 20 m²（合計）</p> <p>3 大岡山駅前広場（平成 24 年度から実施） 駅前広場の花壇を、地域の方々が主体的に整備できるよう、ワークショップを開催し、コミュニティーガーデン（地域の人々が、自主的につくる庭や花壇）づくりを行います。 また、地域の方々と協働で植栽維持管理を行い、特色ある景観づくりを進めます。 130 m²（合計）</p> <p>4 山王二丁目地区（ジャーマン通り）【平成 25 年度】 商店街でもあるジャーマン通りの植栽維持管理の一部を地域の方々が主体的に整備し、地域の活性化・魅力ある通りを目指します。植栽は、年 3 回植替えを実施します。 5.6 m²（合計）</p>
問合先	担当課 （上記 1, 2, 3） 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課 （上記 4） 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課
	課長氏名 （上記 1, 2, 3） 伊藤 晴司郎 電話 3 7 2 6 - 4 3 1 9 （上記 4） 保下 誠 電話 5 7 6 4 - 0 6 2 6
	担当者氏名（上記 1, 2, 3） 池田 利明 電話 3 7 2 6 - 4 3 0 3 （上記 4） 馬場 正弘 電話 5 7 6 4 - 0 6 3 1


【5】観光・文化（1）

事業名	 大田区産業観光促進事業 新規
予算額	<u>1,368万円</u>
事業のねらい	<p>世界に誇るものづくりの PR 及び大田区来訪、区内周遊機会の拡充を目的として、商店街や黒湯、グルメ、羽田空港等既存の大田区のセールスポイントである観光資源と町工場を結びつけた、“大田区らしさ”を凝縮した観光施策を展開します。</p>
事業概要	<p>1 産業観光ツアーの実施 268万円 商店街や黒湯温泉、羽田空港等既存の観光資源に、新たに町工場を加え、産業観光ツアーを試行し、今後、旅行会社等が「商品化」を進めるための事業検証を行います。事業実施にあたり、関係機関と連携を図り企画・実施していくためのワークショップを実施します。</p> <p>2 産業観光の拠点及び産業観光資源の整備 1,100万円 (1) 工場長屋プロジェクトの推進 既存の町工場の空き空間を利用して、町工場の技術・生活・文化を発信するとともに、地域の工場ネットワーク・情報交換の拠点、工場の活動サポートの拠点整備につながる取組みを支援します。</p> <p>(2) 見学受入れの環境整備の推進 区内中小企業を対象に、観光客等見学者受入れのためのパンフレット製作や案内看板、ルート整備等事業推進に対する支援制度を設けます。</p>
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3 7 3 3 - 6 1 2 8
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3 7 3 3 - 6 1 9 0



【5】観光・文化（2）

<p>事業名</p>	<p>🎬🎭 映画・ドラマ等を活用した観光PR事業 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><u>55万円</u></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>NHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」を契機とした観光振興の経験を活かし、これまでのドラマの舞台地、今後の舞台地となる自治体と相互協力を行い、PR機会の拡充を図ります。また、テレビや映画などのロケ支援を推進し、大田区が舞台である作品によるPR効果を狙います。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>1 「梅ちゃん先生」等映画・ドラマを活用した推進事業 平成23年度後期の連続テレビ小説「カーネーション」の舞台地となった岸和田市が中心となって設立された「朝ドラ舞台地ネットワーク連絡会議」に参画することにより、大田区への新たな来訪客の確保を目指します。</p> <p>2 映画・ドラマ等ロケ支援の推進 現在、東京都の東京ロケーションボックスと連携し、撮影依頼などに対して撮影場所の相談等の協力をするだけでなく、区のイメージアップにつながる撮影等については、地域と一体となって積極的に協力・支援を行います。</p>												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">産業経済部</td> <td style="width: 15%;">観光課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>青木 毅</td> <td>電話</td> <td>3733-6128</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>印牧 和治</td> <td>電話</td> <td>3733-6190</td> </tr> </table>	担当課	産業経済部	観光課		課長氏名	青木 毅	電話	3733-6128	担当者氏名	印牧 和治	電話	3733-6190
担当課	産業経済部	観光課											
課長氏名	青木 毅	電話	3733-6128										
担当者氏名	印牧 和治	電話	3733-6190										

【5】観光・文化（3）

事業名	 観光まちづくり推進支援事業 新規
予算額	<u>100万円</u>
事業のねらい	<p>地域における観光まちづくりの機運を高め、事業者や団体による観光まちづくりのより一層の推進につなげることを目的とし、観光まちづくりに資する事業を支援します。</p>
事業概要	<p>1 案内等多言語化促進事業 50万円</p> <p>訪日外国人旅行者の誘客促進を図ることを目的とし、「大田区ウェルカムショップ」、「大田区まちかど観光案内所」に登録している宿泊施設・商業施設・公衆浴場等区内事業者を支援します。対象事業は、ウェブサイトの多言語化、施設内案内表示の多言語化、電話通訳サービスの導入など、他事業者のモデルケースとなるものとします。</p> <p>補助限度額 5万円 補助率 1/2</p> <p>2 観光まちづくり推進支援事業 50万円</p> <p>土産等の商品開発、観光まちあるき等パンフレット作成、観光まちづくりイベント実施・PR等、観光まちづくり推進に資する事業を支援します。</p> <p>支援対象を個々の事業者ではなく、団体とすることにより、地域に広く機運を広めることを目指します。モデルケースとなる事業者等団体を支援することで、支援した事業者等団体のみならず、地域全体に観光まちづくりの機運の拡大を図ります。</p> <p>補助限度額 10万円 補助率 1/2</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3 7 3 3 - 6 1 2 8
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3 7 3 3 - 6 1 9 0

【5】観光・文化（4）

事業名	  大田区観光大使・特使による PR 事業 新規
予算額	<u>133万円</u>
事業のねらい	<p>区内に数多くある観光資源を区内外および海外に広く PR し、誘客促進につなげるため、「大田区観光大使」・「大田区観光 PR 特使」を通じて、情報発信を行います。</p>
事業概要	<p>1 大田区観光大使事業 128 万円 区内在住・在勤・在学等の大田区に縁のある外国人の方々を大田区観光大使（来～る大田区大使）として任命し、イベント等への参加を通じて感じた大田区の魅力を、ブログ・SNS 等 Web や個々人の人脈を活用して出身国などに PR してもらいます。</p> <p>2 大田区観光 PR 特使事業 5 万円 区内外への観光魅力発信の拡充を目的とし、区にゆかりのある著名人又は団体を大田区観光 PR 特使として任命し、大使による積極的かつ自主的な大田区 PR 機会の拡充を図ります。</p> <p>【現在の観光 PR 特使】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① シクラメン（蒲田出身 3 人組アーティスト） ② 羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3 7 3 3 - 6 1 2 8
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3 7 3 3 - 6 1 9 0

【5】観光・文化（5）



事業名	+ 京急品川駅観光情報コーナーの設置 新規
予算額	350万円
事業のねらい	<p>京急品川駅構内に大田区の観光情報コーナーを設置することにより、京急品川駅の利用者に対して大田区の観光 PR を行います。また、情報コーナーを核とした観光プロモーションを行うことにより、大田区への誘客促進を図ります。</p>
事業概要	<p>1 京急品川駅観光情報コーナー運営</p> <p>京急線品川駅構内 1 番線下りホームに、常設の大田区観光情報コーナー（仮称）を設置することにより、京急品川駅の利用者に対して大田区の観光 PR を行います。</p> <p>また、当情報コーナーを活用して、京急グループと連携を図ることにより、地域密着型のツアーの企画等、情報提供機能にとどまらない、大田区に特化した観光プロモーションを展開します。</p>
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190

【5】観光・文化（6）

<p>事業名</p>	<p>+ インバウンド誘致事業</p>
<p>予算額</p>	<p>251万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>外国人観光客の来訪による地域経済の活性化を目的として、海外の旅行会社やメディアを対象としたプロモーションや観光 PR ツールを制作することにより、メディアなどに対する露出の機会を増やし、来訪者の増加を図ります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>※「インバウンド」とは、日本国外から入ってくる旅行者、つまり日本を訪れる外国人の旅行者を指します。</p> <p>1 広域連携によるインバウンド誘致事業 200万円 国・自治体・民間事業者と連携して、海外の旅行エージェント・メディアを対象としたファミトリップ（注）などを実施することにより、大田区の露出の機会を増やし、外国人観光客の増加を図ります。 （注）観光地などの誘客促進のため、旅行関係事業者を対象に現地視察をしてもらうツアー</p> <p>2 観光 PR 用用品制作 42万円 デザインに工夫を凝らした大田区の観光 PR 用のツールを制作して、観光展示会などにおいて、観光パンフレットと一緒に配布することにより、効果的な PR を展開します。</p> <p>3 トラベルマート出展事業 6万円 国内で開催される海外の旅行会社やメディアを PR 対象（バイヤー）とした商談会に出展して、海外の観光関係者に対してプロモーションを行います。</p> <p>4 セールスコール委託事業 3万円 東京観光財団（TCVB）が海外の旅行会社等に訪問した際に、大田区の PR を代行するサービスを活用して、効果的なプロモーションを行います。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 産業経済部 観光課</p> <p>課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128</p> <p>担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190</p>

【5】観光・文化（7）


事業名	 MICE誘致事業 新規
予算額	20万円
事業のねらい	<p>来訪者の増加による地域経済の活性化を目的として、MICE関係者が一堂に介するMICE博覧会に出展して、区内の展示施設や宿泊・飲食店などMICEに関連する施設をPRします。</p>
事業概要	<p>1 MICE博覧会出展事業</p> <p>国内外のMICE関係者が一同に介するMICE博覧会「国際ミーティングエキスポ（IME）」に出展することにより、幅広いMICE関係者に対して、大田区のMICE施設や関連する施設のPRを行います。</p> <p>※「MICE」とは、Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive(報奨旅行)、Convention又はConference(大会・学会・国際会議)、Exhibition(展示会)の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一形態を指します。</p>
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190

事業名	 <small>かわせはすい</small> 特別展「版画家 川瀬巴水一生誕 130 年記念—」（仮題） 新規
予算額	973万円
事業のねらい	<p>大田区にゆかりのある芸術家「川瀬巴水」の作品を広く公開することで、区民が地域に関心と誇りを持つきっかけづくりをします。</p> <p>また、国内はもとより海外にも多くのコレクターがいる巴水の作品を展示することで、観光資源としての活用も図ります。</p>
事業概要	<p>郷土博物館では平成 24 年度に寄贈いただいた版画を中心に、川瀬巴水の特別展を実施します。</p> <p>また、特別展開催前に、大田区の貴重な所蔵品を区内外の皆様にも周知するため、蒲田周辺でプレ展示を実施します。特別展への集客を図り、大森・馬込地区の賑わいの創出にも寄与します。</p> <p>1 特別展の見所</p> <p>(1) 寄贈作品を中心に単なる作品紹介とは異なる観点での展示構成</p> <p>(2) 木版画の原画、試摺といった、珍しい資料を展示</p> <p>(3) 作品が出来上がるまでの工程をわかりやすく紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">巴水の作品をさまざまな側面から御覧いただけます。</p> <p>2 実施時期 10月下旬から前期、中期、後期、各5週間実施予定</p> <p>3 展示作品数 各期 150~200点展示、総展示数 500点を予定</p> <p>4 開催期間中の催し 講演会 1回及び摺師実演会 2回を予定</p> <p>5 販売品 図録、絵はがき、カレンダー、クリアーファイル</p> <p>6 プレ展示 9月下旬（PRのため蒲田周辺で実施予定）</p>
	 <p>「池上本門寺」昭和6年作</p>
問合先	<p>担当課 教育総務部 大田図書館 （郷土博物館）</p>
	<p>課長氏名 山本 成俊 電話 3758-3471</p>
	<p>担当者氏名 鈴木 英子 電話 3777-1070</p>

【6】魅力あるまちづくり（1）


<p>事業名</p>	<p>✈ 空港跡地整備に係る調査（国際戦略総合特区関連事業） 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><u>1,050万円</u></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>羽田空港跡地のまちづくりを推進するため、跡地第1ゾーンの整備に関する調査を行います。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>「おおた未来プラン10年」において羽田空港跡地は、文化交流及び産業交流拠点を整備するとともに、潤いと安らぎ空間の創出をめざすこととしています。これを受け、「大田区企業立地促進基本計画」、「大田区都市計画マスタープラン」等の個別計画においても同様に位置づけています。</p> <p>平成22年10月、羽田空港移転問題協議会は「羽田空港跡地まちづくり推進計画」を策定し、空港跡地第1ゾーンに産業交流施設及び多目的広場等を導入し、10年後を目途にまちづくりの概成をめざすこととしました。</p> <p>さらに一昨年、跡地第1ゾーンは、国際戦略総合特区「アジアヘッドクォーター特区」の区域の一つに指定され、平成24年7月に産業交流施設の活用を盛り込んだ区域計画が認定されました。</p> <p>今後、国際戦略総合特区制度の活用を図り、産業交流施設及び基盤施設の整備を進めるために必要な施設の内容、規模等の事項について、調査、検討を行います。</p> <div style="text-align: center;">  <p>空港跡地（第1ゾーン）整備イメージ</p> </div>												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">担当課</td> <td style="width: 20%;">経営管理部</td> <td style="width: 20%;">企画財政課</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>玉川 一二</td> <td>電話</td> <td>5744-1648</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>大竹 豊和</td> <td>電話</td> <td>5744-1650</td> </tr> </table>	担当課	経営管理部	企画財政課		課長氏名	玉川 一二	電話	5744-1648	担当者氏名	大竹 豊和	電話	5744-1650
担当課	経営管理部	企画財政課											
課長氏名	玉川 一二	電話	5744-1648										
担当者氏名	大竹 豊和	電話	5744-1650										

【6】魅力あるまちづくり（2）


事業名	 京急関連駅周辺のまちづくり												
予算額	45億6,904万円												
事業のねらい	<p>京浜急行線連続立体交差事業を契機として、京急蒲田・糀谷・雑色の3駅周辺地区において、駅前環境や防災機能の向上を図り、地域の皆様とともに安全・安心のまちづくりの取り組みを進めます。</p>												
事業概要	<p>1 京急蒲田駅西口周辺地区 22億4,363万円 駅前地区では、地元地権者が組織する市街地再開発組合（平成23年3月設立認可）の事業を支援します。再開発組合は、平成25年度に除却整地・再開発ビル着工を予定しています。 また、京急蒲田西口地区ランドデザインに沿ったまちづくりでは、まちづくり研究会や地権者団体の活動を支援します。</p> <p>2 糀谷駅周辺地区 23億1,573万円 地元地権者が組織する市街地再開発組合（平成24年7月設立認可）の事業を支援します。再開発組合は、平成25年度中に権利変換計画の認可取得を予定しています。また、再開発ビル内に公益施設（子育て支援施設、高齢者支援施設、公共自転車駐車場）を設置するため、必要な手続きを行っていきます。</p> <p>3 雑色駅周辺地区 968万円 地元地権者が組織するまちづくり研究会の活動を支援します。再開発事業の実現化に向け、地元住民との話し合いを進めていきます。</p>												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">連続立体事業本部 連続立体事業課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>岡田 誠</td> <td>電話</td> <td>5744-1355</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>遠藤 嗣人</td> <td>電話</td> <td>5744-1356</td> </tr> </table>	担当課	連続立体事業本部 連続立体事業課			課長氏名	岡田 誠	電話	5744-1355	担当者氏名	遠藤 嗣人	電話	5744-1356
担当課	連続立体事業本部 連続立体事業課												
課長氏名	岡田 誠	電話	5744-1355										
担当者氏名	遠藤 嗣人	電話	5744-1356										

<p>事業名</p>	<p>✚ 新空港線「蒲蒲線」整備促進事業</p>												
<p>予算額</p>	<p>5億1,222万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>新空港線「蒲蒲線」の整備により、東急線、京急線の両沿線地域相互間の交流機会が拡大し、区内の移動利便性が向上します。また、航空旅客が大幅に増大する羽田空港へのアクセス強化、蒲田地区のまちづくりへの寄与、東京圏多方面からのシームレス化、広域交通ネットワークの形成、緊急時の迂回ルート確保など、多くの整備効果が見込まれます。</p> <p>羽田空港は、平成26年の国際線旅客ターミナルの拡張計画などにより、今後も国際化がますます進展していく見込みです。また、国際戦略総合特区「アジアヘッドクォーター特区」の指定区域である羽田空港跡地の開発計画の進展も見込まれ、新空港線「蒲蒲線」の役割はさらに大きくなっています。この機会をとらえ、新空港線「蒲蒲線」の早期実現を目指した取組みを進めます。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>1 新空港線整備資金積立基金積立金 5億71万円 新空港線「蒲蒲線」の早期実現に向け、大田区としての堅固たる意志と、工事着工の準備資金として、平成24年度に新空港線整備資金積立基金5億円の積立てを行いました。25年度は、さらに5億円を積み立てます。</p> <p>2 新空港線「蒲蒲線」整備促進事業 1,151万円 平成24年度の調査・検討を踏まえ、関係者との検討会において早期実現への議論を深め、整備計画案作成に向けた検討をさらに進めます。</p> <p>あわせて、新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会と連携し、区民の整備促進の機運をより高めます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="427 1377 949 1803"> <p style="text-align: center;">路線位置図</p> </div> <div data-bbox="986 1377 1385 1803"> <p style="text-align: center;">広がる鉄道ネットワーク</p> </div> </div>												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">まちづくり推進部 まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>吉田 春彦</td> <td>電話</td> <td>5744-1691</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>鈴木 誠</td> <td>電話</td> <td>5744-1332</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部 まちづくり管理課			課長氏名	吉田 春彦	電話	5744-1691	担当者氏名	鈴木 誠	電話	5744-1332
担当課	まちづくり推進部 まちづくり管理課												
課長氏名	吉田 春彦	電話	5744-1691										
担当者氏名	鈴木 誠	電話	5744-1332										

【6】魅力あるまちづくり（4）

事業名	 蒲田駅周辺地区の整備												
予算額	<u>4,415万円</u>												
事業の ねらい	<p>「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」の重点課題である蒲田駅を中心とした地区整備について、平成24年度に設置した「蒲田都市づくり推進会議」での検討を進め、初動期の整備計画や中長期における整備指針等をまとめた「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を策定します。</p> <p>また、駅周辺街区も合わせたまちづくりを推進するため、関係地権者による勉強会や組織設立・運営支援を行います。</p>												
事業概要	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1</td> <td>蒲田駅周辺再編プロジェクト策定事業 ①初動期整備計画 ②中長期整備指針 ③低炭素型都市実現方策 ④蒲田駅東口駅前広場実施計画の作成等</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">2,881万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2</td> <td>蒲田駅周辺整備に係る地権者支援等 ①地権者勉強会等支援 ②地権者組織設立・運営支援</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">1,345万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3</td> <td>蒲田駅周辺再編プロジェクト印刷等 ①再編プロジェクト印刷 ②パンフレット作成</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">155万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">4</td> <td>蒲田都市づくり推進会議開催等</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">34万円</td> </tr> </table>	1	蒲田駅周辺再編プロジェクト策定事業 ①初動期整備計画 ②中長期整備指針 ③低炭素型都市実現方策 ④蒲田駅東口駅前広場実施計画の作成等	2,881万円	2	蒲田駅周辺整備に係る地権者支援等 ①地権者勉強会等支援 ②地権者組織設立・運営支援	1,345万円	3	蒲田駅周辺再編プロジェクト印刷等 ①再編プロジェクト印刷 ②パンフレット作成	155万円	4	蒲田都市づくり推進会議開催等	34万円
1	蒲田駅周辺再編プロジェクト策定事業 ①初動期整備計画 ②中長期整備指針 ③低炭素型都市実現方策 ④蒲田駅東口駅前広場実施計画の作成等	2,881万円											
2	蒲田駅周辺整備に係る地権者支援等 ①地権者勉強会等支援 ②地権者組織設立・運営支援	1,345万円											
3	蒲田駅周辺再編プロジェクト印刷等 ①再編プロジェクト印刷 ②パンフレット作成	155万円											
4	蒲田都市づくり推進会議開催等	34万円											
問合先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課												
	課長氏名 齋藤 浩一 電話 5744-1341												
	担当者氏名 菊地 裕之 電話 5744-1339												

【6】魅力あるまちづくり（5）

事業名	 大森駅周辺地区の整備						
予算額	<u>1,963万円</u>						
事業のねらい	<p>平成23年3月に策定した「大森駅周辺地区グランドデザイン」で重点課題としている大森駅西側地区の再整備について、関係地権者等によるまちづくり計画の検討を支援します。また、計画策定に向けて、関係機関・事業者や地元団体とも調整を行っていきます。</p>						
事業概要	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1</td> <td style="vertical-align: top;">大森駅周辺地区におけるまちづくりの検討 ①まちづくり計画案の検討 ②地元地権者組織の活動支援</td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;">1,415万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2</td> <td style="vertical-align: top;">大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画の検討 ①整備方針（案）及び既往調査等の整理 ②駅西側駅前周辺関連交通流動の把握・整理 ③駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画の検討</td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;">548万円</td> </tr> </table>	1	大森駅周辺地区におけるまちづくりの検討 ①まちづくり計画案の検討 ②地元地権者組織の活動支援	1,415万円	2	大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画の検討 ①整備方針（案）及び既往調査等の整理 ②駅西側駅前周辺関連交通流動の把握・整理 ③駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画の検討	548万円
1	大森駅周辺地区におけるまちづくりの検討 ①まちづくり計画案の検討 ②地元地権者組織の活動支援	1,415万円					
2	大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画の検討 ①整備方針（案）及び既往調査等の整理 ②駅西側駅前周辺関連交通流動の把握・整理 ③駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画の検討	548万円					
問合先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課						
	課長氏名 大木 康宏 電話 5744-1454						
	担当者氏名 松島 愛一郎 電話 5744-1339						

【6】魅力あるまちづくり（6）

事業名	✚ 空港臨海部のまちづくり・交通ネットワーク調査									
予算額	<u>1,216万円</u>									
事業のねらい	<p>平成22年3月に策定した「空港臨海部グランドビジョン2030」の実現に向け、「空港臨海部土地利用の誘導」、「空港臨海部交通ネットワークの整備」の調査・検討を行います。</p>									
事業概要	<p>港湾機能や物流、ものづくりの集積地であった空港臨海部の埋立島部においては、近年空港関連や環境リサイクル系の企業進出が多くなり、土地利用形態に大きな変化が現れ、今後の土地利用のあり方が大きな課題となっています。</p> <p>また、羽田空港の国際化や京浜3港連携に伴う東京港の港湾機能の強化により、空港臨海部での物流や旅客輸送がさらに増大し、空港周辺道路の渋滞が懸念され、交通ネットワークのあり方も、もう1つの重要な課題となっています。</p> <p>本調査では、平成24年度に引き続き、「空港臨海部グランドビジョン2030」に掲げた「世界を魅了する新しい国際空港・臨海都市」を目指し、新たな土地利用の誘導の方向性や、空港臨海部の基盤となる交通ネットワークの整備に関する調査検討を行い将来像の具体化へ向けた方向性を探ります。</p> <p>【調査検討項目】</p> <p>(1) 空港臨海部まちづくりの調査検討</p> <p>(2) 空港臨海部交通ネットワークの調査検討</p>									
問合先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>まちづくり推進部</td> <td>まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>荒井 昭二</td> <td>電話 5744-1331</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>大橋 英一</td> <td>電話 5744-1303</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課	課長氏名	荒井 昭二	電話 5744-1331	担当者氏名	大橋 英一	電話 5744-1303
担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課								
課長氏名	荒井 昭二	電話 5744-1331								
担当者氏名	大橋 英一	電話 5744-1303								

【6】魅力あるまちづくり（7）

<p>事業名</p>	<p>士 景観法を活用した景観行政の推進 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p>835万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>景観法を活用した景観行政を推進するため、景観行政団体として、区独自の大田区景観計画を策定し、景観計画をふまえた良好な景観形成をめざします。</p>												
<p>事業概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 景観行政団体へ移行します（平成25年4月1日移行予定） 大田区の地域特性を活かした良好な景観の形成をめざすため、東京都から景観行政事務を引き継ぎ、区が景観法に定める「景観行政団体」となり、景観行政を担っていきます。 2 大田区景観条例を施行します（平成25年4月1日施行予定） 景観法の規定に基づく景観計画の策定、行為の規制等について必要な事項を定めるとともに、区、区民及び事業者の責務を明らかにし、多彩で魅力的な景観のあるまちを実現するため、大田区景観条例を施行します。 3 景観計画を策定します 景観行政団体が景観行政を進める際の基本的な計画となる大田区景観計画を策定し、区内全域を景観計画区域として指定し、区域ごとに良好な景観の形成に関する方針や、行為の制限に関する事項等を定めます。 4 景観審議会を設置します 大田区景観条例に基づき、良好な景観の形成に関する重要な事項を調査・審議するため、大田区景観審議会を設置します。 5 景観アドバイザー制度を創設します 良好な景観形成に関して専門的見地から助言を行う景観アドバイザー制度を創設し、事業者等に対して助言等を行っていきます。また、景観計画に基づく手続き業務を行なっていくため、建築物等の色彩やデザインのガイドラインや、届出の手引き等を作成します。 												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">まちづくり推進部 まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>西山 正人</td> <td>電話</td> <td>5744-1663</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>中村 哲</td> <td>電話</td> <td>5744-1333</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部 まちづくり管理課			課長氏名	西山 正人	電話	5744-1663	担当者氏名	中村 哲	電話	5744-1333
担当課	まちづくり推進部 まちづくり管理課												
課長氏名	西山 正人	電話	5744-1663										
担当者氏名	中村 哲	電話	5744-1333										


【6】魅力あるまちづくり（8）

<p>事業名</p>	<p>士 海辺の散策路整備</p>
<p>予算額</p>	<p>4,414万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>羽田空港を望む臨海部に、多くの人々が憩え、みどり豊かで水辺に親しめる散策路を整備します。</p> <p>具体的には、大森ふるさとの浜辺公園から多摩川にかけて遊歩道を整備し、臨海部に水と緑のネットワークを形成することで、国際都市おたにふさわしい景観やにぎわいのあるまちづくりにつなげていきます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>大森ふるさとの浜辺公園から多摩川を結ぶ水と緑のネットワークの形成を図る「海辺の散策路」の工事を行います。</p> <p>歩行者や自転車が快適に利用できるように通路を拡幅しながらバリアフリーに配慮した平板ブロック舗装を行います。また、人々が四季を感じながら憩える魅力ある緑道となるように植栽の改修も行っていきます。</p> <p>工事範囲 大森南五丁目2番～6番先 約600m 区間</p> <p>[海辺の散策路 整備例]</p> 
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課</p> <p>課長氏名 黒沢 健志 電話 5744-1336</p> <p>担当者氏名 石橋 克己 電話 5744-1678</p>

【6】魅力あるまちづくり（9）

<p>事業名</p>	<p>+ 旧逆川の整備（蒲田駅周辺のまちづくり）</p>												
<p>予算額</p>	<p><u>1億4,800万円</u></p>												
<p>事業の ねらい</p>	<p>旧逆川道路の整備で、魅力ある空間をつくり、周辺エリアへの回遊性の拡充により、賑わいを創出します。また、バリアフリー化による快適な歩行者空間の確保で回遊性を高めます。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>平成24年度に施工した電線共同溝工事に引き続き、旧逆川道路の街築工事を行います。</p> <p><整備概要> 車道の一方通行規制を行い、かつての逆川をイメージした歩行者優先の快適で人にやさしい道路として整備します。 また、まちなみごとに多種多様な樹木を配置し、季節によって楽しめる通りにします。 今後は、道路の活用方法について検討してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所 蒲田五丁目 20番から 27番先 ・整備延長 210m <p style="text-align: center;">イメージ図</p> 												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 建設工事課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>石井 一雄</td> <td>電話</td> <td>5764-0679</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>内田 岳</td> <td>電話</td> <td>5764-0720</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 建設工事課			課長氏名	石井 一雄	電話	5764-0679	担当者氏名	内田 岳	電話	5764-0720
担当課	都市基盤整備部 建設工事課												
課長氏名	石井 一雄	電話	5764-0679										
担当者氏名	内田 岳	電話	5764-0720										

【6】魅力あるまちづくり（10）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 桜のプロムナードの整備</p>
<p>予算額</p>	<p><u>1億3,120万円</u></p>
<p>事業のねらい</p>	<p>さわやかな水と緑の輝きや四季の変化を楽しみながら散策できる遊歩道として、西馬込一丁目、馬込桜並木の道路を桜のプロムナードとして整備します。整備に合わせて、道路のバリアフリー化を図り、安全・快適なまちづくりをめざします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 設計委託 南馬込五丁目 44 番から六丁目 1 番先の道路を桜のプロムナードとして整備するために、設計委託を実施します。 <設計委託箇所> ・南馬込五丁目 44 番から六丁目 1 番先（都営馬込車庫前）設計延長 220m</p> <p>2 工事 西馬込一丁目 4 番から 18 番先の緑道はリニューアルし、桜のプロムナードとして整備します。また、南馬込四丁目 37 番から中央五丁目 1 番先に位置する馬込桜並木については、施設の老朽化に伴い歩道や植樹ますのリニューアルを行い、桜並木の魅力を高めます。さらに、今回の整備に合わせて、道路のバリアフリー化を図ります。 <工事箇所> ・西馬込一丁目 4 番から 18 番先（立正学園前）整備延長 140m ・南馬込四丁目 37 番から中央五丁目 1 番先（馬込桜並木）整備延長 170m</p> <p>[桜のプロムナード 整備例]</p> 
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 石井 一雄 電話 5764-0679 担当者氏名 小泉 謙二郎 電話 5764-0725</p>

【6】魅力あるまちづくり（11）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 公園の整備</p>
<p>予算額</p>	<p>2億8,403万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園緑地の整備、拡張を進めます。 また、安全で使いやすい公園とするために、バリアフリー化などを進めます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 都市計画公園の整備 4,784万円 都市化した大田区に残された貴重な樹林を保全し、豊かな緑を次世代に引き継いでいく公園づくりを進めます。 ・ 田園調布せせらぎ公園（設計・工事） ・ 佐伯山緑地（工事）</p> <p>2 一般公園の整備 1億1,049万円 隣接地に公園用地が取得できた公園は、全体をリニューアル工事します。 ・ 高畑第三児童公園（工事） ・ 南馬込一丁目南児童公園（工事）</p> <p>地域から親しまれて、貴重な保存樹・湧水のある用地においては、これを生かした公園づくりを進めます。 ・ [仮称]南雪谷五丁目公園（工事）</p> <p>地元商店街・ボランティア団体と協働してまちづくりに寄与し、様々な人が多様な利用ができる公園に改良します。 ・ 新井宿第一児童公園（工事）</p> <p>3 大規模公園のバリアフリー化 1億2,570万円 段差の解消・手すりの設置・歩行しやすい道への改良・案内板の設置など、高齢の方・体の不自由な方をはじめ、だれもが利用しやすい公園に改良します。 ・ 萩中公園（工事） ・ 本門寺公園（工事） ・ 洗足池公園（工事） ・ 平和の森公園（工事） ・ 池上梅園（工事）</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課</p> <p>課長氏名 石井 一雄 電話 5764-0679</p> <p>担当者氏名 森下 太郎 電話 5764-0705</p>



【6】魅力あるまちづくり（12）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 小池の水を洗足流れに導水する基本調査 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><u>600万円</u></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>小池の水を有効活用し、洗足流れや呑川の水辺環境の維持・保全を図るとともに、良好な水循環の構築を目指します。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>小池公園内にある池は、洗足池が大池と呼ばれたのに対し小池と呼ばれ、昭和初期よりヘラブナ釣堀として親しまれてきました。その後、区では平成19年度に都市計画公園事業の認可を取得し整備を進め、平成21年4月に新たに小池公園として開園しました。この小池は、周辺からの湧水を水源とした貴重な水環境を形成しています。</p> <p>区では周辺の湧水を保全するため、周辺道路において透水性舗装や浸透トレンチ管などを整備し、水量の確保に努めています。</p> <p>小池の余剰水を呑川に注いでいる洗足流れまで導水することにより、洗足流れや呑川の水源確保など、水辺環境の改善の可能性について検討します。</p> <p>1 基本調査委託</p> <p>小池の水質や排水量の把握、小池の水を洗足流れまで導水することによる洗足流れ及び呑川への影響などを検討し、洗足流れや呑川の水源確保などに対する有効性を検証します。</p> <p>①水質・排水量の把握 ②洗足流れ・呑川への影響検討</p> <p style="text-align: center;">【小池公園全景】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【湧水流入箇所】</p>  </div> </div>												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 都市基盤管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>根本 敦</td> <td>電話</td> <td>5744-1689</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>藤澤 康文</td> <td>電話</td> <td>5744-1304</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課			課長氏名	根本 敦	電話	5744-1689	担当者氏名	藤澤 康文	電話	5744-1304
担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課												
課長氏名	根本 敦	電話	5744-1689										
担当者氏名	藤澤 康文	電話	5744-1304										


【6】魅力あるまちづくり（13）

<p>事業名</p>	<p>自転車レーンの試験整備 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p><u>170万円</u></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>自転車に関係する交通事故減少を目的として、道路上に自転車通行位置の明示を行うことにより、自転車利用者に走行部分の明確化を図り、車道左側通行を励行します。同時に、自転車利用者の交通ルール・マナー遵守と歩行者の安全確保、自動車運転手への自転車通行の周知を徹底していきます。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>区では、平成23年3月に「大田区自転車等利用総合基本計画」を策定して、利便性や快適性、安全性を考慮して出発地から目的地(駅や集客施設など)まで連続した走行空間(ネットワーク)を形成することとし、自転車ネットワーク候補路線図を作成しました。</p> <p>今回の「自転車レーンの試験整備」は、区内の道路を整備していく上での課題や問題点を検証し、効果的な整備手法を検討するものです。自転車利用者、歩行者、自動車が安全・安心に通行できるか効果等を評価して、今後の施策の展開を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施行延長 2キロメートル（道路両側4キロメートル） ・ 施行場所 検討中（大森まちなみ維持課管内を予定） ・ 施行時期 平成25年10月以降（予定） ・ 施行内容 区道において自転車通行マークを貼り付ける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自転車通行位置明示（法定外表示）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>車道左側に1.0m以上確保できない場合</p> <p>※右図の自転車のマーク及び白線、レーンの色については例であり今後検討します。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">＜整備イメージ＞</p>  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">＜整備事例＞</p> <p>江戸川区-ナビマーク（警視庁） 小平市-ナビマーク（警視庁）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">世田谷区</p>  </td> </tr> </table> </div>	<p>車道左側に1.0m以上確保できない場合</p> <p>※右図の自転車のマーク及び白線、レーンの色については例であり今後検討します。</p>	<p style="text-align: center;">＜整備イメージ＞</p> 	<p style="text-align: center;">＜整備事例＞</p> <p>江戸川区-ナビマーク（警視庁） 小平市-ナビマーク（警視庁）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">世田谷区</p> 									
<p>車道左側に1.0m以上確保できない場合</p> <p>※右図の自転車のマーク及び白線、レーンの色については例であり今後検討します。</p>	<p style="text-align: center;">＜整備イメージ＞</p> 												
<p style="text-align: center;">＜整備事例＞</p> <p>江戸川区-ナビマーク（警視庁） 小平市-ナビマーク（警視庁）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">世田谷区</p> 													
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 都市基盤管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>根本 敦</td> <td>電話</td> <td>5744-1689</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>中村 満</td> <td>電話</td> <td>5744-1315</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課			課長氏名	根本 敦	電話	5744-1689	担当者氏名	中村 満	電話	5744-1315
担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課												
課長氏名	根本 敦	電話	5744-1689										
担当者氏名	中村 満	電話	5744-1315										


【6】魅力あるまちづくり（14）

事業名	 （仮称）仲六郷二丁目複合施設の建設																					
予算額	9億3,589万円																					
事業のねらい	老朽化した六郷特別出張所（S41年築）の移転改築にあわせ、高齢者支援・子育て支援及び集会施設等を備えた複合施設を建設し、住民サービス・福祉・防災を統合した地域力の拠点とします。																					
事業概要	<p>【施設概要】 大田区仲六郷二丁目44番 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上5階 ○敷地面積 2,241.71㎡ ○建築面積 843.28㎡ ○延床面積 3,713.73㎡ （自動車駐車場：10台、自転車駐車場：約100台）</p> <p>【フロア概要】</p> <table border="1" data-bbox="379 797 1401 1541"> <tr> <td>屋上階</td> <td>太陽光発電システム</td> <td>屋上に7kw/h、壁面に5kw/hのパネルを設置</td> </tr> <tr> <td>5階</td> <td>集会施設</td> <td>予約制の有料貸室(95㎡×2)</td> </tr> <tr> <td>4階</td> <td>会議室</td> <td>地域力推進六郷地区委員会の開催等(70㎡×4)</td> </tr> <tr> <td>3階</td> <td>子育て支援施設</td> <td>子ども家庭支援センター 六郷分室 「子育てひろば」および「一時保育室」の実施、「ファミリー・サポート・センター事業」を支援し、子育ての相談・情報提供の場とする。</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>高齢者支援施設</td> <td>地域包括支援センター「さわやかサポート六郷中」 介護予防事業として運動もできる「多目的室」を設置 町会・自治会、六郷特別出張所との連携による高齢者支援の拠点とする</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>六郷特別出張所</td> <td>戸籍住民窓口、地域振興事務、区民ギャラリー</td> </tr> <tr> <td>B1階</td> <td>機械室、防災備蓄倉庫等</td> <td>災害時に使用する毛布等を備蓄</td> </tr> </table> <p>【今後の予定】 （竣工）平成25年12月末 （開館）平成26年2月上旬</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>（完成イメージ図）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>（平成24年12月現場状況）</p> </div> </div>	屋上階	太陽光発電システム	屋上に7kw/h、壁面に5kw/hのパネルを設置	5階	集会施設	予約制の有料貸室(95㎡×2)	4階	会議室	地域力推進六郷地区委員会の開催等(70㎡×4)	3階	子育て支援施設	子ども家庭支援センター 六郷分室 「子育てひろば」および「一時保育室」の実施、「ファミリー・サポート・センター事業」を支援し、子育ての相談・情報提供の場とする。	2階	高齢者支援施設	地域包括支援センター「さわやかサポート六郷中」 介護予防事業として運動もできる「多目的室」を設置 町会・自治会、六郷特別出張所との連携による高齢者支援の拠点とする	1階	六郷特別出張所	戸籍住民窓口、地域振興事務、区民ギャラリー	B1階	機械室、防災備蓄倉庫等	災害時に使用する毛布等を備蓄
屋上階	太陽光発電システム	屋上に7kw/h、壁面に5kw/hのパネルを設置																				
5階	集会施設	予約制の有料貸室(95㎡×2)																				
4階	会議室	地域力推進六郷地区委員会の開催等(70㎡×4)																				
3階	子育て支援施設	子ども家庭支援センター 六郷分室 「子育てひろば」および「一時保育室」の実施、「ファミリー・サポート・センター事業」を支援し、子育ての相談・情報提供の場とする。																				
2階	高齢者支援施設	地域包括支援センター「さわやかサポート六郷中」 介護予防事業として運動もできる「多目的室」を設置 町会・自治会、六郷特別出張所との連携による高齢者支援の拠点とする																				
1階	六郷特別出張所	戸籍住民窓口、地域振興事務、区民ギャラリー																				
B1階	機械室、防災備蓄倉庫等	災害時に使用する毛布等を備蓄																				
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>担当課</td> <td>地域振興部</td> <td>六郷特別出張所</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>白根 睦正</td> <td>電話 3732-4885</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>根本 大輔</td> <td>電話 3732-4885</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部	六郷特別出張所	課長氏名	白根 睦正	電話 3732-4885	担当者氏名	根本 大輔	電話 3732-4885												
担当課	地域振興部	六郷特別出張所																				
課長氏名	白根 睦正	電話 3732-4885																				
担当者氏名	根本 大輔	電話 3732-4885																				

【6】魅力あるまちづくり（15）

事業名	 新井宿特別出張所の改築
予算額	2億5,379万円
事業のねらい	<p>老朽化した新井宿特別出張所（S41年築）を「大田文化の森」の向かい側の場所に移転、改築することで利便性・耐震性の向上を図るとともに、地域力の推進拠点・防災拠点としての機能を強化します。</p>
事業概要	<p>1 建設の概要</p> <p>(1) 場 所 中央一丁目 21 番 10 号</p> <p>(2) 敷地面積 約 752 m² 延床面積 約 1,082.5 m²（予定）</p> <p>2 スケジュール概要（予定）</p> <p>平成 24 年度～25 年度 実施設計</p> <p>平成 25 年度～26 年度 工事</p> <p>平成 26 年度 竣工</p>
問合先	担当課 地域振興部 新井宿特別出張所
	課長氏名 遠藤 彰 電話 3776-5391
	担当者氏名 石川 里香 電話 3776-5391

【6】魅力あるまちづくり（16）

事業名	 団体支援ネットワークの強化
予算額	3,603万円
事業のねらい	連携・協働を推進する仕組みづくりを行うほか、地域ネットワークの強化や、地域に協働事業を広げるきっかけづくりを行い、地域力を高めます。
事業概要	<p>1 地域力応援基金助成事業 3,432万円 地域力応援基金の活用により、福祉、子育て、まちづくり等の区民活動を資金面から支援し、地域力の発掘・活性化を進めます。 (1) スタートアップ助成 設立からおおむね5年以内の団体を対象とし自立を支援します。 助成額：新規10万～50万円 継続1年10万～30万円 (2) ステップアップ・ジャンプアップ助成 地域の方が地域のために行う事業を対象としています。 平成24年度に募集・審査を実施し、25年4月からの事業開始を予定しています。 ①ステップアップ助成 事業テーマは、各団体のオリジナルテーマで募集します。 助成額：新規50万～300万円 継続1年50万～200万円 ②ジャンプアップ助成 事業テーマは区から提示し、区の課題を担っていただく団体を募集します。 助成額：新規400万円 継続1年400万円 ※平成25年度はステップアップ助成5事業、ジャンプアップ助成2事業を新規で実施します。</p> <p>2 協働推進講師派遣事業 30万円 自治会・町会やNPO等区民活動団体が実施する事業の中で、協働の視点を持った事業に講師を派遣します。 派遣回数 (1) 自治会・町会からの申請による派遣 6回 (2) 区民活動団体の申請による派遣 4回</p> <p>3 区民活動情報サイト（オーちゃんネット）の運営 141万円 地域で活動している区民活動団体の情報をインターネット等で提供し、地域デビューや団体間の連携・協働を進めます。登録は平成25年1月31日現在、413団体です。</p>
問合せ先	担当課 地域振興部 地域振興課 課長氏名 区民協働担当課長 白鳥 信也 電話 5744-1225 担当者氏名 松木 伸浩 電話 5744-1204

【6】魅力あるまちづくり（17）

<p>事業名</p>	<p>👤👤👤 ✦ おおた未来プラン 10 年（後期）の策定 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">763万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>区の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を実現するため、平成 21 年 3 月に策定した大田区 10 か年基本計画「おおた未来プラン 10 年」が、平成 25 年度に前期 5 年の満了を迎えます。実効性ある基本計画とするため、現在の社会経済状況を踏まえ、今後予想される社会的動向を見据えた上で、平成 26 年度から 30 年度までのおおた未来プラン 10 年（後期）を策定します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>おおた未来プラン 10 年（後期）の策定にあたっては、現行のプランの成果や課題を十分に検証するほか、区民や有識者等を含む「おおた未来プラン 10 年（後期）策定懇談会」や区民説明会の開催、区民アンケートの実施等により、区民の皆様からのご意見をいただきながら策定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年」</p></div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">将来像</p> <div style="background-color: #ff69b4; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた</p> </div> <p style="text-align: center; color: green;">基本目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #ff69b4; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>①生涯を健やかに 安心していきいきと 暮らせるまち</p> </div> <div style="background-color: #90ee90; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>②まちの魅力と産業が 世界に向けて輝く 都市(まち)</p> </div> <div style="background-color: #ffa07a; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>③地域力と行政の 連携がつくる人と 地球に優しいまち</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">【おおた未来プラン 10 年（後期）策定スケジュール（予定）】</p> <p>平成 25 年 4 月 策定懇談会開催 5 月 基本的な考え方策定 11 月 懇談会開催 12 月 素案策定 12 月中旬～平成 26 年 1 月初旬 パブリックコメント実施、「素案区民説明会」開催</p> <p>平成 26 年 2 月 懇談会開催 3 月 おおた未来プラン 10 年（後期）策定</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 経営管理部 企画財政課</p> <p>課長氏名 川上 立雄 電話 5744-1127</p> <p>担当者氏名 佐藤 美貴子 電話 5744-1124</p>

